

## 棚橋源太郎資料について

### —棚橋資料目録—

斎藤修啓<sup>1</sup>・鈴木一義<sup>2</sup>

<sup>1</sup>〒464-8601 愛知県名古屋市千種区不老町 名古屋大学大学院教育学研究科

<sup>2</sup>〒169-0073 東京都新宿区百人町 3-23-1 国立科学博物館理工学研究部

## A Study of Gentaro Tanahashi

### —A Catalog of Tanahashi Library—

Nobuhiro Saito<sup>1</sup> and Kazuyoshi Suzuki<sup>2</sup>

<sup>1</sup>Graduate School of Education, Nagoya University  
Furo-cho, Chikusa-ku, Nagoya-shi, 464-8601 Japan

<sup>2</sup>Department of Science & Engineering, National Science Museum  
3-23-1 Hyakunin-cho, Shinjuku-ku, Tokyo 169-0073 Japan

#### Abstract

Tanahashi Library is located in the library of National Science Museum. Gentaro Tanahashi's bequest was presented by his wife Syou Tanahashi. The Catalog of Tanahashi Library comprises 654 items, which are arranged in 7 categories by authors. As follows: 1) 99 Books and booklets, 2) 87 periodicals, 3) 64 museum's guides, 4) 141 manuscripts, notes and memorandums, 5) 21 photos and postcards, 6) 118 materials related to museum, and 7) 124 other materials.

**Key words:** Gentaro Tanahashi, National Science Museum, "The History of Museum (*Hakubutsukan Bijutsukan-Shi*)".

#### はじめに

本稿では、国立科学博物館図書室の所蔵する「棚橋源太郎資料」を棚橋源太郎（1869年～1961年）の業績にそくしながら考察する。「棚橋源太郎資料」（以下、「棚橋資料」と称す）は、理科教育の進展に貢献した後、国立科学博物館の前身である東京教育博物館の館長を歴任し、日本博物館協会の理事として博物館界の活動に寄与した棚橋源太郎の旧蔵資料であり、ご遺族であるショウ夫人から1962年に寄贈されたものである。

本稿は、未整理であった「棚橋資料」について、筆者が資料確認と分類作業を行った際の知見にもとづき、その特徴を論ずるものである。「棚橋資料」は棚橋に関する研究のみならず、日本の博物館に関する歴史的研究などを進展させる上で、一定の学術的価値があるとおもわれる。なお、本稿に添付した「棚橋資料目録」は、資料整理の成果である<sup>1)</sup>。

棚橋源太郎に関する資料には、本「棚橋資料」のほかに、「棚橋源太郎先生関係資料」として、彼の

生誕地の岐阜県に設立された岐阜県博物館に所蔵されているものがある。「棚橋源太郎先生関係資料」は、棚橋源太郎先生顕彰・研究会の中心的運営者である宮崎惇が著作『棚橋源太郎—博物館にかけた生涯—』<sup>2)</sup>の執筆の資料として収集したもの、新井孝喜が筑波大学に提出した修士論文作成の過程で収集した資料から構成されている。1992年現在のリストによれば、宮崎収集資料が194件、新井収集資料が166件である<sup>3)</sup>。これらの資料は、棚橋の著作、論文のコピーを中心として、彼が活躍した博物館界、教育界の時代背景を示す論文などを含んでいる。「棚橋源太郎先生関係資料」の中で特筆すべきものは、棚橋の親族や彼と親交のあった人々から得た棚橋に関する情報を記した資料であり、これは宮崎によって収集された。それらの中には、ご遺族である棚橋泰氏の提供した棚橋源太郎の著作、あるいは棚橋源太郎に関する資料もおさめられている。この「棚橋源太郎先生関係資料」は、棚橋の業績を一覧する上で、格好の資料群となっている。

一方、国立科学博物館所蔵の「棚橋資料」は、棚橋源太郎自身の集めた資料であることを最大の特徴としている。そこで、棚橋の生涯を概略したのちに、それを考慮して「棚橋資料」の特徴を論ずることにしたい。

ところで「棚橋資料」には、棚橋の私生活に関わるものも含まれており、これらの資料は、現段階での目録への掲載と公開を差し控えることにした。利用者の方々のご賢察とご了承を願いたい。

## 1. 棚橋源太郎の生涯の概略

棚橋源太郎は1869年に本巣郡北方村（現在の北方町）に生まれ、1885年岐阜県華陽学校師範部（のちの岐阜県師範学校）に入学した<sup>4)</sup>。1889年同校卒業後に岐阜県尋常師範学校の訓導などを務め、1892年高等師範学校へ入学する。1895年に同校博物学科を卒業し、兵庫県尋常師範学校、岐阜県尋常師範学校での勤務を経て、1899年に高等師範学校の訓導、1903年に同校教授となる。小学校理科の教科書執筆をはじめ、教育関係雑誌に多数の論文を発表し、理科教育や手工教育の研究において著名となる。

1906年に国立科学博物館の前身である東京高等師範学校附属東京教育博物館の主事を兼務し、同博物館のみならず博物館界とのかかわりをもつ契機となった。教育博物館の役割に積極的な意義を見いだした棚橋は、展示場面積も予算も小規模である附属東京教育博物館において、展示方法の改善などを試み、同館に教育関係者を対象とした「特別室」を設置し、運営に工夫をこらした。なお、東京高等師範学校附属東京教育博物館、東京教育博物館、東京博物館と棚橋とのかかわりについては、『国立科学博物館百年史』<sup>5)</sup>に詳しい。

1909年から2年間、「博物学研究」を主な目的として、ドイツを中心に欧米へ留学し、教育事情の見聞を広めるとともに、進んだ博物館施設を目の当たりにした。留学の成果は、第一次世界大戦後に盛んとなった「実験室教授法」など、新しい理科教育法の普及活動に結びついた。

1910年代前半に、文部省によって通俗教育への取り組みが開始されると、棚橋は1912年に附属東京教育博物館へ「通俗教育館」を附設した。これには、欧州とくにドイツでの博物館施設の見聞が活かされた<sup>6)</sup>。東京高等師範学校の附属をはなれ、文部省直轄となった東京教育博物館では、1916年以降、特別展として社会教育的な啓蒙活動を主眼とした展覧会を開催した<sup>7)</sup>。このうち、生活改善に関する展覧会と、その発展形態としての生活改善運動は、社会教育分野における棚橋の主要な活動のひとつとみなされる。棚橋は生活改善同盟会の創設（1920年）にかかわり、幹事に就任した。同盟会の事務所は、棚橋が館長をする東京教育博物館内に設置された<sup>8)</sup>。

1923年の関東大震災によって、棚橋が館長を務めていた東京博物館は焼失してしまった。その復興にとまなう博物館移転新築計画の渦中、彼は1924年に館長と東京高等師範学校教授を辞任する。

翌1925年に2度目の留学をし、フランスを中心に欧米へ約1年間滞在した。前回の留学は、学校教育に関する調査を中心的な課題としていたが、今回は博物館などの社会教育施設やその活動の調査に重点をおいた。具体的には、①「社会教育調査」(文部省)、②日本赤十字社参考館の設立準備のための調査(日本赤十字社)、③「欧州各国ニ於ケル博物教授ノ施設ニ関スル調査」(東京高等師範学校)、④「欧州諸国ニ於ケル直観教授施設並公園内民衆教育施設視察」(東京市役所)、⑤「欧米に於ケル生活改善並勤儉奨励状況調査」(社会局)の依頼を受けていた。

既に20年近い博物館運営の経験を有していた棚橋は、博物館見学では、意識的に「資料貯蔵室・研究室・参考図書室・学芸員室・工作室など、楽屋裏」にまで立ち入ったという<sup>9)</sup>。展示物だけでなく施設全体を注目し、展示活動を支える他の活動にも目配りをする。

帰国後の棚橋は、日本赤十字社の博物館設立に関与し、1928年には、博物館事業促進会(現在の日本博物館協会)の設立に発起人のひとりとして尽力した。1928年6月に創刊された促進会の機関誌『博物館研究』の編集担当として、国内外の博物館事情や博物館に関する理論的研究を紹介した。その蓄積は、『眼に訴へる教育機関』<sup>10)</sup>にまとめられている。

戦時中を通して、日本博物館協会の常任理事として協会の先導役を果たし、博物館活動への理解と博物館の設立促進を訴えた。同時に、博物館に関する法律の整備を強く求めていた。戦後の1951年に博物館法が制定されるまで、独自の私案を作成するなど、日本博物館協会の博物館法制定運動の中心的な役割を果たす。

はやくも1947年には、戦前からの研究の成果をまとめた『世界の博物館』<sup>11)</sup>を、1950年には『博物館学綱要』<sup>12)</sup>を出版する。博物館法制定後、学芸員養成が開始されると、立教大学での博物館学担当講師として1953年から1960年まで再び教壇に立つ。1959年には、国際博物館会議の名誉会員となる。しかし、1961年に逝去された。

## 2. 棚橋源太郎資料の特徴

「棚橋資料」の総数は、654件である。筆者による分類にしたがえば、(1)書籍・冊子類は99件、(2)逐次刊行物は87件、(3)博物館等の施設案内・収蔵資料カタログは64件、(4)草稿・ノート・メモ類は141件、(5)写真・絵はがきは21件、(6)博物館や学芸員養成に関するその他の資料は118件、(7)その他の資料は124件ふくまれている。資料の件数を数えるときには、同一書籍・冊子類が複数部数ある場合、逐次刊行物の同タイトルのは、1件として数えている。草稿やメモ類、写真・絵はがきなどについて、資料の保存状態を考慮して、筆者が一括に扱う方がよいと判断した一定のまとまりなども、それぞれ1件とみなした。

### 2-1 資料全体の特徴

以下、まず資料全体の特徴について概観する。個別の資料について言及する場合は、添付した「棚橋資料目録」に示した資料番号を必要に応じて用いた。

「棚橋資料目録」に記載した資料の発行年は、日本国内で発行されたものについていえば、年代の判明しているものは、2件(資料162, 537)を除けばすべて1924年以降のものである。これは、1923年の関東大震災によって所蔵資料を焼失したためであると推測される<sup>13)</sup>。このため、いわば棚橋の前半生の主要な業績である理科教育、手工教育、教具研究などに関する資料は、ほぼ皆無の状況である。海外の博物館の紀要類、ガイド類は、1925年に出発した2度目の留学において収集したものを含むためか、同年以前の発行のものも含んでいる。

つぎに、海外で発行された資料についてその国別件数の傾向をみる。(1)書籍・冊子類、(2)逐次刊行物、(3)博物館等の施設案内・収蔵資料カタログにおける、海外で発行されたと判断される資料

計 82 件 ((1) 10 件, (2) 37 件, (3) 35 件) のうち、発行場所が不明である 3 件、国際機関である ICOM の発行したものを除く 78 件では、アメリカで発行されたものが 31 件で最も多く、約 40% の占有率である。ついでイギリスの 14 件 (約 18%), ドイツの 13 件 (約 17%), スウェーデンの 6 件 (約 8%) である。その他は、フランス 4 件、ノルウェー 4 件、アイルランド 2 件、オランダ 1 件、スコットランド 1 件、中華民国 1 件、ハンガリー 1 件である。

これらの資料の発行場所は、アメリカと西ヨーロッパが圧倒的に多数を占めていることがわかる。欧米地域以外で発行されたものは、中華民国の 1 件であり、棚橋の海外についての資料収集の対象はアメリカ、西ヨーロッパを中心としていた。それは、当時のいわゆる博物館的な施設の設立状況について、数的にも内容的にも欧米地域とそれ以外の地域では顕著な差があったということが理由として考えられる。

棚橋は、欧米の博物館施設の発展を学ぶべきものとして受けとめていた。たとえば、1930 年 10 月現在の日本では、博物館という「重要な施設が今日まで殆ど閑却されて、頗る不備の状態にある」から、博物館の「充実完成を図り、欧米文明国の水準に達せしめることは、実に刻下の一大急務」であるとみなしていた<sup>14)</sup>。また、戦後 1946 年 11 月頃の博物館設立状況について、「日本には上野公園に帝室博物館と小規模の科学博物館とがある以外には、何処にもまだ博物館らしいものがなく、随つて博物館と云ふものの真の活動振りを見せられたこともなければ、またその恩恵に浴して、ありがた味を体験したこともない」ほどであるという<sup>15)</sup>。実際に、1947 年発行の『世界の博物館』の文中で紹介している博物館は、欧米のものが中心であり、全 216 頁中、アジアにある博物館については、日本の博物館と博物館史の記述の 12 頁分、シンガポールのラッフルス博物館について記述した 5 頁分のみであった<sup>16)</sup>。

日本人にとって比較的なじみのうすい北ヨーロッパのスウェーデンとノルウェーで発行された資料が 1 割強を占めていることは、野外博物館との関連が指摘できる。野外博物館とは、前世紀末から今世紀の初頭に台頭した新しい博物館の形態であり、建築物などの文化遺産を屋外に展示、保存する機関である。19 世紀末に設立されたスウェーデンのスカンセンは、現在でも野外博物館の代表的な例とみなされている<sup>17)</sup>。この野外博物館を棚橋は注目しており、著作において「スカンセンの戸外博物館」と紹介している<sup>18)</sup>。

その他に国別件数で注目すべき点は、(2) 逐次刊行物に関して、アメリカで発行されたものの割合が高いことである。計 37 件において、発行場所不明を除く 36 件については、アメリカで発行されたものが 23 件あり、約 64% の占有率である。それに続くのが、イギリス、ドイツの各 4 件 (約 11%) であることを考慮すれば、アメリカで発行された逐次刊行物の占める割合の高さがわかる。この傾向は、棚橋の注意がアメリカの博物館に向けられていたということ以外に、アメリカの博物館が対外的な広報活動を積極的に行っていたことも主要な原因であったと推測される。

## 2-2 各分類ごとの資料群の特徴

以下、筆者による分類ごとに各資料群の若干の特徴を述べる。

(1) 書籍・冊子類は 99 件ある (資料 1~99)。このうち、博物館に関する内容を主とするものは 30 件あり、約 3 割を占める。日本博物館協会の編集、あるいは発行にかかる冊子である「観光外客と博物館並に同種施設の設備充実」(資料 24)、「郷土博物館施設に関する調査」(資料 30)、「戸外文化財の教育的利用」(資料 39)、「再建日本の博物館対策」(資料 48)、「大学専門学校等に於ける現存設備の博物館の公開利用の提唱」(資料 65)、「地方博物館建設の指針」(資料 67)、「本邦博物館発達の歴史」(資料 87) について、それぞれ複数の点数を所有していたことが指摘できる。また、戦後文部省社会教育局芸術課が発行した、美術館に関する資料「国美資料」は、第 1 号から第 6 号まで残されるなど (資

料 23, 31, 36, 76, 81, 98), 文部省発行資料が 9 件含まれている。

他方、戦中戦後の経済危機や食糧難の社会事情の中で勢力のあった生活改善運動、生活合理化運動などに関する資料が 22 件あることは注目される。これらのうち、生活改善同盟会(後の生活改善中央会)発行の書籍類の資料は、棚橋による同会への理論的な部分での貢献を示すものとおもわれる。たとえば、1924 年に発行された『生活改善の棗』(資料 59)には、棚橋によるものと推測される書込、推敲が残されており、それはその後 1935 年に発行された冊子『葬儀に関する改善要項』(資料 62)のいわば草稿であったとみなされる。『生活改善の棗』では、同書の 8 頁から 12 頁にわたり、「葬儀に関する事項」として 11 点の改善を勧告していたが、『葬儀に関する改善要項』では、12 点の改善勧告へと変更している。具体的には、要項「二」の内容が二分され、以下の番号がひとつずつずれて、「八」が削除され、最後に「一二」が追加された。これらの変更点は、『生活改善の棗』に書き込まれているとおりである。

食生活や食糧問題に関する資料は 8 件あり、その中でも棚橋の講演記録である「調理師講習会講義録 第十一講—台所衛生の実際的施設に就て—」(資料 70)は、この方面への彼の関心と知見の高さを示す資料である。なお、資料 70 の発行者である糧友会は、陸軍糧秣本廠内におかれていた。

(2) 逐次刊行物は 87 件ある(資料 100~186)。このうち、国外の逐次刊行物で発行年が判断できた 22 件は、そのすべてが 1945 年以前のものである。ただし、資料 133, 137 の 2 件は、明らかに第二次大戦後の資料であると判断される。逆に、国内で発行されたものは、5 件を除きすべて 1945 年以降のものであった。

国外で発行された逐次刊行物 37 件は、1 件(資料 122)を除くすべてが博物館に関するものである。除外された 1 件についても、野外教育施設に関するものである。

一方、国内の逐次刊行物において、博物館に関するものは、50 件中 9 件と 2 割に満たない。社会教育を含め、広く教育に関するものが 17 件あり、これらの占める割合の高いことがわかる。

(3) 博物館等の施設案内・収蔵資料カタログは 64 件であった(資料 187~250)。海外の資料の発行年は、判断できた 26 件中の 20 件が 1945 年以前の資料である。このうち、棚橋によって現地で直接的に購入した可能性のあるものは、渡欧の 1925 年以前に発行された 9 件である。これらの施設案内・収蔵資料カタログの大半については、たとえば、他の旅行者への依頼、資料交換などの間接的な方法を用いて入手しなければならないものであったといえよう。

国内の博物館に関する資料は、全部で 28 件と海外のもの比べて少ない。このなかで、発行年のわかる 11 件について、戦前のもものは 3 件である。

(4) 草稿・ノート・メモ類は 141 件あり、筆者の分類によれば資料全体の中で最も多い(資料 251~391)。これらの草稿の記述者は、おおむね資料所蔵者であった棚橋自身のものと判断される。草稿の一部には、署名されているものもあり、草稿類が棚橋の記述によるものと判断する裏付けとなる。なお、草稿等は、プリントや使用済み原稿用紙の裏を再利用している場合が多い。その場合、B4 用紙を袋とじて、紐などで綴じて用いる場合が多かったようである。順序等が分散している草稿類についても、綴じられた跡のあるものが多い。

この草稿類には、棚橋の研究活動の一端を示しうる、3 つの特徴的な資料群があるとおもわれる。1 つは、棚橋の著作『博物館・美術館史』を執筆する過程の草稿類である。日本博物館協会の徳川会長による「序」の草稿を含む『改訂博物館学 博物館史』の草稿(資料 267)や棚橋の署名まで記入されている『博物館美術館史』の序の草稿(資料 358, 359)などの存在にくわえ、草稿に記された表題と『博物館・美術館史』の章構成にあらわれた題目と共通する点が多いため、筆者は『博物館・美術館史』の草稿類であると判断した。

2つめは、『Extract from American Museums』のノート(資料251)など、棚橋の学習、研究方法の一端を示す資料である。この資料は、アメリカ国内の博物館や博物館協会の発行する書籍、逐次刊行物から棚橋の抜粋した部分を翻訳して書き綴ったノートであるとおもわれる。たとえば、2冊のうち「(丙)」のノートには、ノートに添付されている目次の表現に従えば、「産業資料の陳列(理工学博物館)」、「成人教育」、「博物館の研究事業」について抜き書きされている。もう一方のノートには「博物館建築」についての内容が抜き書きされている。

『『博物館学外国雑誌抜粋』のノート(資料341)には、「オーストリアの二郷土博物館」、「科学の発達<sup>〔マ〕</sup>が博物館分野への影響 (museum Vol. VII, No.3 1954)」、「ストックホルム理工学博物館の原子館(Atomarium) museum Vol. VII, No.3 1954」、「学芸員・教育者と博物館教師 (museum Vol. VI, No4)<sup>〔マ〕</sup>」などを訳出している。この資料の作成年は断定できないものの、1954年以降に抜き書きされたことは明らかである。この当時棚橋は、すでに85歳になっていた。上記の『博物館・美術館史』は1957年に棚橋の米寿を記念して出版されたものであり、彼自身によって資料の収集と草稿類の推敲作業が進められていたことがわかる。

なお、以上2件のように、直接的に棚橋の関心のある記事を抜き書きしたノートばかりでなく、書籍類、逐次刊行物等への傍線、書込の分析とを総合的に行うことで、海外の博物館情報の受容の視点をうかがう上での示唆となりうる。『博物館研究』の編集で棚橋と交流のあった人物の回顧によれば、毎月発行される同誌のために「欧米の新著を参酌して」原稿を書いていたということであり<sup>19)</sup>、そのような学習、研究方法を裏付ける資料である。

3つめは、「不老延命の科学」(資料377, 378)の草稿である。これは運良く、一方は紐で綴じられ、他方は紙箱にまとめられているため、散逸することなく残されており、健康的な生活への志向をものがたる資料となっている。資料378の草稿は、題目「不老延命の科学」、著者名の記入、「はしがき」にはじまっており、将来的にはこれらをもとにした出版までを視野に入れていたことが推測される。この「はしがき」には、昭和二十三年二月の日付も記入されている。ただし、筆者の調べた限りでは、「不老延命の科学」と題した論文は公表されていない。

(5) 写真・絵はがきは21件ある(資料392~412)。これらのうち、写真の多くは棚橋の著作や論文などで、図版として使用されたと判断される。写真以外でも書籍や逐次刊行物において、挿絵などに枠線や加筆などが施されている場合があり、これも、棚橋の著作などの図版に転載されたと推測される。

たとえば、『『モンナ・リーザ』にみとれる人々の写真』(資料412)は写真類と口絵の関連を明らかにする上で特徴的なものである。この写真は、『博物館・美術館史』の口絵8図「観衆が大陳列替え後のルーヴル博物館の名作モナリーザに見とれる光景(カメラ毎日の阿部徹雄氏撮影)」との被写体、構図に明白な共通性が認められる。それに加え、2点ある同種の写真のうち、大きい方の写真の裏には阿部の住所印が押されており、彼が写真を提供した(貸与した)ことは明らかである。以上の条件から、それらの写真(あるいはそれらの写真の複製)が口絵の下図となったと断定してよい。

草稿類の資料と関連深いと判断された著作『博物館・美術館史』に注目して、その口絵の図103点と写真・絵はがきの図柄を比べてみると、被写体や構図が共通する計41点もの写真・絵はがきがあり、「棚橋資料」の写真は彼の博物館関係の著作の図版に使用されていたと断定できる。なお、共通する絵の点数について、資料412は同種のものが2点あるため、1点として数えた。共通する41点のうち、1点(図22)は「動物の展示の絵はがき」(資料405)のうちの1点の図柄との共通性が指摘できる。

また、『博物館・美術館史』の口絵の図28, 43, 45, 63はそれぞれ、資料218, 198, 206, 214の施設案

内・収蔵資料カタログに掲載されている図との共通性が指摘できる。それぞれの資料において、これらの図には書込や線引きなどがなされており、複製等の作業のためのものであったとおもわれる。4つの図のうち口絵43,45に関しては、「棚橋資料」の「アメリカの美術館の写真」(資料395)にも共通の構図をもつものが2点ある。被写体、構図、陰の濃淡などの共通性から判断して、これらの写真は印刷物から複製されたものであると断定してよい。

(6) 博物館や学芸員養成に関するその他の資料は118件あり、戦後の博物館界の状況を示している(資料413~530)。とくに、東京学芸大学での学芸員養成とともに、大学の通常の課程で学芸員資格の取得が可能となった立教大学での学芸員養成課程に関する資料が興味深い。これらの資料とともに、(4)草稿類の部門に加えられている『「博物館学講義実習案」のノート』(資料342)、「博物館学講義日程」(資料343)、『「博物館学試験問題」の草稿』(資料344)などを参照すれば、当時の棚橋の博物館学の講義、すなわち日本最初の博物館学の講義内容の構成の一端が明らかにされよう。また、立教大学学生が提出したレポート(資料530)も残されているため、受講者の視点からも、棚橋の博物館学の構成が読みとれるだろう。

(7) その他の資料は124件である(資料531~654)。これらのなかで注目されるのが新聞の切り抜きを集めた「スクラップブック」(資料603)である。この資料によって、当時における棚橋の関心事の一端がよみとれるであろう。

そこでスクラップブックの中身に注目してみると、計200点の記事が残されている。スクラップブック全体のうち、41頁分が使用されており、そこには計74点の記事などが貼られており、挟み込みであるだけの切り抜きも126点ある。一部には日付の記入された記事もあるが、これらの切り抜きには意識的に日付は記入されていない。

これらの切り抜きを、文化関係の記事、健康関係、教育関係、その他の記事類の4つに分類してみた。

博物館に関するもの18点、美術や美術展に関するもの28点を含む文化関係の記事は計114点あり、最も多い。国際地球観測年であった1957年に読売新聞紙上で定期的に掲載された、科学的シリーズ読み物「宇宙・地球・人間 神々への回答」の切り抜き35点が含まれているなど、理化学的な側面を取り扱った文化関係の記事も43点ある。

健康関係の記事は、食糧問題に関する記事43点を中心に、計53点ある。とりわけ食糧問題については、生活改善運動や赤十字博物館での活動、資料『「不老延命の科学」の草稿』にも示されているように、高い関心のあったことが再確認させられる。スクラップブックの19頁目(右開き)から40頁目までの20頁と、右開きの最後の頁との計23頁分にわたって、おおむね食糧問題についての記事のみが貼り付けられている。19頁目には、赤鉛筆で「食糧問題資料」と標記してあるように、これらの記事は他の内容のものよりも意識的に貼付されたことが推測される。これらの記事では、戦争直後の食糧難の時期の政策や食生活の科学的改善へ提言などが論じられている。

棚橋と生活改善運動に関する先行研究では、彼の活動を大正期を中心にして論じている。しかし、食糧問題健康問題への関心は、昭和戦前期、戦時期での赤十字博物館の活動のみならず、戦後まで保ち続けられたことがわかる。

教育関係の記事としては、戦前の国民学校設置などの教育制度改革や1950年代以降の社会科解体問題など教育課程に関する記事など、計18点含まれる。

その他の記事類としては、観光政策や観光事業に関する記事の切り抜き9点、書籍の広告2点など、計17点含まれていた。棚橋は、博物館やそれに類する施設の役割を観光事業との関わりから考察することもあった<sup>20)</sup>。

また、文部省の社会教育関係担当職員のOBなどで構成される同窓会の資料や茗溪会関係の名簿等もあり、棚橋氏の交友関係を知る手がかりとなる。大日本女子社会教育会からのちらしなどもあり、戦前の生活改善運動で幹事として、戦後の生活合理化連盟で理事として席をならべた井上秀子ら生活改善の運動に関わった人々との連絡が戦後もあったことが推測される。なお、「財団法人大日本女子社会教育会役員名簿」（資料577）によれば、「昭和35年6月1日現在」において、棚橋は大日本女子社会教育会の名誉顧問であり、井上は会長であった。

## ま と め

「棚橋資料」を全体として、あるいは各分類ごとにその特徴を論じてきたことをまとめると、以下の点について指摘できる。

まず第一に、「棚橋資料」は、1920年代後半から1960年頃までに発行されたものがそのほとんどを占めており、棚橋源太郎の2度目の留学以降に集められたものと考えられる。棚橋はこの留学以降、戦後の博物館法制定運動に至るまで、日本博物館協会の運営に深くかかわっており、日本の博物館界に重要な足跡を残した彼の活動を知る上での貴重な資料である。

第二に、棚橋によって記述されたと断定される草稿やノート類の資料は、①教育（学）者である棚橋が欧米の博物館活動や博物館論を受容する際の視点、②文部省とも関わりのあった棚橋が国内の博物館活動や博物館論をどのように認識していたか、を分析する上での貴重な資料である。

第三に、従来、博物館界の発展や理科教授法の改善に貢献したことなどによって紹介されてきた棚橋について、それ以外の分野での活動を示す資料が含まれていることである。たとえば、生活改善運動、その中でも健康問題への関心の高さを示す資料は、特徴的である。第一次大戦後の東京教育博物館での特別展開催や生活改善同盟会の設立、昭和戦前期、戦時期の赤十字博物館での特別展開催以降も、個人的に生活改善への関心を持ち続けていたことがわかる。

これらのことから、「棚橋資料」は、棚橋源太郎研究に資するものとして位置づくばかりでなく、日本における博物館論の発展を歴史的に考察する上で、貴重なものであるといえよう。

## 謝 辞

おわりにのぞみ、このような貴重な資料を提供された棚橋源太郎氏のご遺族および関係者の方々に衷心よりお礼を申し上げる。

## 注

- 1) 添付した「棚橋資料目録」に掲載した資料とは別に、単行書である和書62点、洋書21点が棚橋文庫として1962年に整理されている。逐次刊行物は、随時整理が行われ、国立科学博物館所蔵資料となっている。本稿は、それら以外の「棚橋資料」の特徴を論じたものである。
- 2) 宮崎 惇『棚橋源太郎—博物館にかけた生涯—』岐阜県博物館友の会、1992年2月25日。
- 3) 『岐阜県博物館所蔵 棚橋源太郎先生関係資料目録(1)』棚橋源太郎先生顕彰・研究会、1991年9月2日。『岐阜県博物館所蔵 棚橋源太郎先生関係資料目録(2) [新井孝喜氏寄贈の部]』棚橋源太郎先生顕彰・研究会、1992年2月2日。
- 4) 棚橋源太郎の生涯の概略の記述にあたっては、宮崎『棚橋源太郎—博物館にかけた生涯—』（前掲）を参照した。また、岐阜県博物館所蔵の「棚橋源太郎先生関係資料」も適宜利用した。
- 5) 国立科学博物館『国立科学博物館百年史』1977年11月1日。
- 6) 斎藤修啓「1900年代における棚橋源太郎による西欧博物館論の受容—博物館の教育活動と学校教育の関係に注目して—」『日本の教育史学』第41集、教育史学会、1998年10月1日。

- 7) 特別展の概要は、以下のものを参照。椎名仙卓「大正時代の特別展覧会」『日本博物館発達史』雄山閣, 1988年7月20日。久保内加菜「大正期東京教育博物館における特別展覧会—専門分科化と大衆化—」『生涯学習・社会教育学研究』後20号, 東京大学大学院教育学研究科 生涯教育計画講座社会教育学研究室 紀要編集委員会, 1996年3月。
- 8) たとえば, 生活改善運動に関して棚橋に言及している先行研究には, 以下のものがある。小林嘉宏「大正期における社会教育政策の新展開—生活改善を中心に—」『講座日本教育史』第三卷, 第一法規出版, 1984年4月25日。磯野さとみ「生活改善に関する一考察—設立と活動内容に関する研究—」昭和女子大学近代文化研究所『学苑』第621号, 1991年7月。小山静子「第一次世界大戦後の生活改善問題」『立命館言語文化研究』第8巻第2号, 1996年12月。
- 9) 棚橋源太郎『博物館・美術館史』長谷川書房, 1957年6月5日, 3頁(「自序」)。
- 10) 棚橋源太郎『眼に訴へる教育機関』宝文館, 1930年1月10日。
- 11) 棚橋源太郎『世界の博物館』大日本雄弁会講談社, 1947年4月25日。
- 12) 棚橋源太郎『博物館学綱要』理想社, 1950年10月25日。
- 13) 前掲, 棚橋『眼に訴へる教育機関』, 1頁(「叙言」)。ただし, 岐阜県博物館所蔵の「棚橋源太郎先生関係資料」には, 棚橋泰氏提供による, 1923年以前の棚橋源太郎旧蔵資料の複写物が含まれている。
- 14) 前掲, 棚橋『眼に訴へる教育機関』, 1頁(「叙言」)。
- 15) 前掲, 棚橋『世界の博物館』, 1頁(「自叙」)。
- 16) 前掲, 棚橋『世界の博物館』, 191-195頁, 205-216頁。
- 17) 「野外博物館」倉田公裕監修『博物館学事典』東京堂出版, 1996年9月20日, 307-308頁。
- 18) 前掲, 棚橋『眼に訴へる教育機関』, 156-159頁。
- 19) 河竹繁俊「棚橋先生と本邦博物館事業促進運動」棚橋源太郎氏教育功労記念会『棚橋源太郎氏と科学教育』1938年9月14日, 84頁。
- 20) たとえば, 棚橋源太郎「観光外客と日本の文化」帝国工芸会『帝国工芸』第4巻第7号, 1930年7月1日。

## 棚橋資料目録凡例

1. 本目録は、国立科学博物館の所蔵する「棚橋源太郎資料」に含まれる各資料について、書名、点数、著者名、発行者名、発行年、書物サイズ、印刷方式、備考の順に掲げた。
2. 本目録は、筆者によって資料を(1)書籍・冊子類、(2)逐次刊行物、(3)博物館等の施設案内・収蔵資料カタログ、(4)草稿・ノート・メモ類、(5)写真・絵はがき、(6)博物館や学芸員養成に関するその他の資料、(7)その他の資料の7種類に分類し、アルファベット順、五十音順を併用して配列した。
3. 書名は、資料によっては、文書件名などを表記した。原文書に標題が提示されていないものについては、その内容に即した標題を編者が〔 〕を付して示した。その際に、文書に用いられている文言を引用した場合は「 」を付した。
4. 著者名は、文書発信者名などを含み、文書受信者名が明記されている場合は続けて標記した。
5. 発行者名につづいて、海外で発行されたものは〔 〕を付して、発行場所の国名を標記した。
6. 発行年は、文書作成年、文書発信年を含み、調査書類などでは、調査月日を標記したのものもある。西暦、年号の情報をそのまま用いて、略して標記した。月、日が不明の場合は「一」で示した。たとえば、出版年が西暦1912年3月4日の場合は、「1912.3.4.」と標記した。年号を用いている場合は、明治は「M」、大正は「T」、昭和は「S」の記号を最初に付した。昭和12年3月の場合は、「S12.3.」と標記した。年についても不明の場合は、記載を省略した。
7. 著者名、発行年などについて、編者の断定で記入した場合は〔 〕を付した。
8. 書物サイズは、タテmm\*ヨコmmの長さをもつて5mm単位ごとの近似値をもって示した。草稿類などでは、必要に応じて厚さmmをタテ\*ヨコの後ろに付した。
9. 印刷方式については、下記のとおり略字表記をした。
 

印	活版印刷
T	タイプライターを用いたもの
謄写	謄写版印刷
ペン	ペン書き
赤ペン	赤ペン書き
鉛筆	鉛筆書き
赤鉛筆	赤鉛筆書き
青鉛筆	青鉛筆書き
毛筆	毛筆書き
10. 備考として、その他の必要とおもわれる情報を適宜記載した。その際に、資料に記載された文字などで解読不能な部分は「□」であらわした。逐次刊行物で複数の号数がある場合は、ここにその内訳を標記した。

棚橋資料目録

(1) 書籍・冊子類

	書名	点数, 著者, 発行者, 発行年, 書物サイズ	印刷方式, 備考
1	APPEL A TOUTES LES COLLABORATIONS	1, 260 * 160	印.
2	La Collaboration intellectuelle an Mundaneum	1, 245 * 160	印. 本あるいはパンフ レットの一部.
3	Equations of Motion of Self-gravitating Elastic Sphere of Variable Density and Elasticity	1, H. TAKEUCHI, Geophysical Institute, Tokyo University 1949.-.-., 250 * 180	印. 「交換」と「□□物 館理化学課」の「33.12. 30」付の印あり. 「GEOPHYSICAL NOTES VOL. 2 (1949) NO. 15」の抜刷.
4	FILM EDUCATION IN JAPAN	1, BUREAU OF SOCIAL EDUCATION, DEPARTMENT OF EDUCATION, 1937.-.-., 220 * 150	印. 文部省の著作. 英 文.
5	Geographie für höhere Lehranstalten 1, Heft Erste Stufe	1, E. von Seydlitz, 〔ドイツ〕, 220 * 145	印.
6	Geographie für höhere Lehranstalten 5. Heft Zweite Stufe	1, E. von Seydlitz, 〔ドイツ〕, 220 * 145	印.
7	GUIDE TO JAPANESE POSTAL SERVICE	1, MINISTRY OF COMMUNICATIONS, 245 * 130	印.
8	HULL'S OLD TIMES STREET	1, T. SHEPPARD, 〔イギリス〕, 1935.-.-., 255 * 165	印. 「THE MUSEUMS JOURNAL, OCTOBER 1935」の抜刷.
9	MUNDANEUM	1, UNION DES ASSOCIATIONS INTERNATIONALES, 240 * 155	印. 表紙に「to Mr. Gentaro Tanahashi」, 「192□.□□.2□」と横文 字の書込あり.
10	Museums and Education	1, D. A. Allan, The Royal Society of Arts, London, 〔イギリス〕, 1949.11.4., 240 * 155	印. Journal of the Royal Society of Arts Vol. XCVII からのリブ リント.
11	PRINCIPES D'HYGIENE	1,〔フランス〕, 185 * 100	印.
12	SUMP METHOD	1, SUMP DOKOKWAI, 260 * 185	印. マイクロ写真特許 について.

13	Die Technik des Gewerkschaftswesens	1, Adolf Cohen, 〔ドイツ〕, 1913.-.-., 225 * 145	印. 表紙に 「Dr. Morikatsu Inagaki」 の印と「G」の鉛筆書き あり.
14	TYPE SPECIMENS IN BOTANY AND ZOOLOGY	1, W. E. SWINTON, ICOM, 1955.-.-., 210 * 140	印.
15	Wagner-Kalender 1908	1, Martin Krause 編, Virgil Verlag, 〔ドイツ〕, 225 * 150	印. 表紙破損. 書込あり.
16	アメリカ博物館の発達と最近の傾向	1, William S. Thomas, 文部省社会教育局, 1959.11.-., 210 * 150	印. 米国ロチェスター 市立美術科学博物館長の 講演の日本語訳.
17	栄養の改善に就て	1, 厚生省, S14.4.15., 210 * 145	印.
18	宴会に関する改善要項 旅館に関する 改善要項	1, 生活改善中央会発行, S12.7.17., 185 * 125	印.
19	岡山県北部(美作地区)羊歯植物目録	1, 津山科学産業博物館 発行, S33.11.-., 255 * 180	謄写.
20	会員名簿 1960	1, 立教大学史学会編, 210 * 150	印. 訂正表がはさまれ ている.
21	学人学語	1, 石本巳四雄著, 柁谷書院発行, S15.4.15, 195 * 135	印. 石本眞氏からの謹 呈の紙あり.
22	各国における博物館の教育活動	1, 石原東編著, 日本博物館協会発行 S31.3.20., 245 * 175	謄写. 赤線あり.
23	神奈川県立近代美術館	1, 文部省社会教育局芸 術課, S26.7.5., 260 * 180	T, 謄写. 赤線, 青線, 書込あり. 「国美資料第 5 号」. 同館についての雑 誌記事の転載など.
24	観光外客と博物館並に同種施設の整備 充実	4, 日本博物館協会編, 日本交通公社発行, S22.10.25., 210 * 150	印. 4冊中1冊に書込 あり.
25	技術立国建白書	1, 技術立国協議会, S34.6.6., 250 * 175	印.
26	教育太平記 教育興亡五十年史	1, 志恒寛著, 洋々社発行, S31.11.6., 180 * 130	印. ふせん, 赤線あり.
27	教育的観覧施設一覧	1, 文部省教化局 S17.4.1., 245 * 175	謄写. ペン, 赤鉛筆, 青 鉛筆にて書込. 表紙に棚 橋の印.
28	教育評論家協会要覧	1, S32.4.-., 130 * 95	印.
29	教職課程並に博物館講座 履修指導要 項	1, 立教大学, [1956.-.-.], 250 * 175	謄写. 表紙に「棚橋先 生」と鉛筆書き.

30	郷土博物館建設に関する調査	11, 日本博物館協会発行, S17.4.30., 210 * 150	印. 1冊の表紙に「岡崎」の印あり. 1冊に「贈呈」の紙.
31	近代美術館に関するパリ近代美術館長ジャン・カウス氏及び館員ベルナル・ドリヴァル氏の報告ならびに意見	1, 文部省社会教育局芸術課, S26.6.20., 260 * 180	謄写. 赤線, 青線, 書込あり. 「国美資料第2号」.
32	黒麦考 (其の四)	1, 丸本彰造著, 糧友会発行, S31.11.1., 210 * 155	謄写. 「昭和十九年七月下旬食糧学校発行に係る緊急対策ライ麦考」の抜粋.
33	軍拡競争がなくなったら	1, モデスト・ルビンシテイン, ソビエト社会主義共和国連邦大使館広報課, 1959.5.-, 210 * 150	印.
34	結婚改善運動	1, 和歌山県学務部社会課, S11.3.10., 190 * 130	印. 「社会教化資料第四輯」.
35	結婚に関する改善要項 贈答に関する改善要項 時の尊重利用に関する改善要項	1, 生活改善中央会発行, S11.6.5., 185 * 125	印.
36	現代美術館への希望	1, 文部省社会教育局芸術課, S26.6.25., 260 * 180	謄写. 赤線, 青線, 書込あり. 「国美資料第3号」. 現代美術館, 近代美術館に関する記事の転載.
37	工業中毒及救急施設	1, 鯉沼茆吾著, 産業福利協会, S2.7.30., 185 * 125	印. 青線あり. 「産業福利パンフレット第五号」.
38	公民館・図書館・博物館 現状と課題	1, 社会教育局, S28.3.-, 190 * 260	印.
39	戸外文化財の教育的利用	5, 日本博物館協会発行, S23.4.15., 210 * 150	印. 5冊中1冊に書込あり.
40	呼吸器の病気	1, 目黒区医師会, 目黒区歯科医師会監修, 目黒区国民健康保険課, S35.12.-, 180 * 125	印.
41	国民健康保険	1, 東京都民生局保険部国民保険課, S34.11.-, 210 * 150	印. 赤線あり.
42	国民服裁縫精義	1, 染葉秋宏編, 文化服装学院すみれ会出版部発行, S16.6.28., 210 * 155	印.
43	国立科学博物館の拡充に曙光	3, 棚橋源太郎 立教大学博物館学講座, 1960.3.25., 255 * 185	印. 『Mouseion』第5号別刷.

44	国家の興隆と博物館の重要使命	8, 荒木貞夫講述, 210 * 150	印. 「東京中央放送局より全国へ放送」された講演.
45	子供会のしおり	1, 鳴門市教育委員会発行, 250 * 180	謄写.
46	これからの交際作法	1, 堀内敬三著, 大日本雄弁会講談社発行, S24.4.30., 180 * 125	印. 謹呈印あり.
47	こんな話もある 金と時間と空間と	1, 日興証券企画部発行, S33.12.5., 170 * 115	印.
48	再建日本の博物館対策	11, 日本博物館協会発行, S20.11.-., 210 * 150	印. 1冊の一部に切取りあり.
49	史蹟名勝天然記念物一覧	1, 文部省教化局総務課, S18.1.-., 210 * 150	印. 棚橋の印あり.
50	「実験 30 呼吸作用 (2)」の実験指導について	1, 中条 幸, レージャーセンター・サイエンスルーム, S34.3.25., 255 * 180	印. 「時報」第 6 号の別刷.
51	実生活の建直し	1, 生活改善同盟会編, 宝文館発行, S4.12.6., 190 * 135	印. ふせん, 赤線, 書込あり.
52	信濃大町の白鳥物語	1, 羽田健三著, 大町山岳博物館発行, S29.5.25., 210 * 145	印.
53	巡回指導婦講習会速記録 巡回指導の実際に就て	1, 東京府産婆会発行, S16.5.16., 210 * 145	印.
54	循環器の病気	1, 目黒区医師会, 目黒区 歯科医師会監修, 目黒区国民健康保険課, S35.10.-., 180 * 125	印.
55	商人と菩薩の道	1, 眞胴商雲著, 白門社発行, S12.10.5., 190 * 135	印. 「棚橋源太郎様 恵存」と見返しに毛筆書.
56	昭和 30 年度生態学実験講座 入門講座テキストブック	1, 国立自然教育園, S30.8.-., 255 * 180	謄写. 赤線有り. 表紙に「5」と印字.
57	自力更正に依って救はれた村々	1, 岩谷愛石著, 愛国青年社発行, S7.11.12., 130 * 190	印. ふせん, 書込あり.
58	瑞西観光事業概観	1, 国際観光局, S8.3.-., 210 * 150	印. 翻訳本. 正誤表あり.
59	生活改善の葉	1, 生活改善同盟会編集, 発行, T13.2.15., 220 * 150	印. 文章の増補と推敲がされている部分あり. 虫食いひとし.
60	1954 年の国際動物園長会議	1, 「古賀報告」, 250 * 180	T, 謄写.

61	戦時献立の栄養価	1, 佐伯矩編, 国民精神総動員中央聯盟発行, S15.1.31., 210 * 145	印.
62	葬儀に関する改善要項	1, 生活改善中央会発行, S10.12.11., 185 * 125	印.
63	卒業五十五周年記念誌	1, 浮田辰平, S35.5.-., 210 * 150	印. ふせん, 赤線あり. 「三九会」の記念誌.
64	卒業五十年記念	1, 三九会, S30.5.-., 210 * 145	印. 明治39年の東京高師卒業者の会.
65	大学専門学校等に於ける現存設備の博物館的公開利用の提唱	21, 日本博物館協会発行, S18.6.10., 210 * 150	印. 21冊中4冊に「贈呈」の紙あり.
66	第十五回赤十字国際会議誌	1, 日本赤十字社, S11.12.5., 225 * 150	印. 棚橋の印あり.
67	地方博物館建設の指針	3, 日本博物館協会発行, S22.4.10., 210 * 150	印.
68	朝鮮の平和的統一のための南北連邦制について	1, 在日本朝鮮人総聯合会 中央常任委員会宣伝部発行, 1960.12.1., 170 * 100	印. 「贈呈」の印あり.
69	調理師講習会講義録 第九講 一献立の要領・調理通則一	1, 山崎務講述, 調理士資格向上教育委員会編, 糧友会発行, S13.3.5., 220 * 150	印.
70	調理士講習会講義録 第十一講 一台所衛生の実際の施設に就て一	1, 棚橋源太郎述, 調理士資格向上教育講習会編, 糧友会発行, S13.3.15., 220 * 150	印.
71	長熊廃寺周辺古瓦出土住居址二例	1, 丸子亘著, S33.7.-., 210 * 150	印. 『銅鐸』第14号の抜刷.
72	なぜ玄米でなければならぬか	1, 二木謙三著, 大日本養正会発行, S12.11.20., 190 * 125	印.
73	日本著作権協議会の概要	1, 日本著作権協議会, S30.10.1., 210 * 145	印. 「著作権シリーズ(1)」.
74	日本に食料不足はない	1, 鈴木忠治郎著, 鈴木糧食研究所発行, S31.12.28., 205 * 150	印.
75	日本米の研究	1, 糧友会, S31.11.-., 255 * 180	謄写.
76	ニューヨーク近代美術館	1, 文部省社会教育局芸術課, S26.6.15., 260 * 180	謄写. 赤線あり. 「国美資料第1号」. 「ニューヨーク近代美術館刊行の冊子 “THE MUSEUM OF MODERN ART NEW YORK” by James Thrall Soby の全訳」.

77	年表我国に於ける郷土博物館の発展 (稿)	1, 大日本聯合青年団郷土資料陳列所編, 大日本聯合青年団発行, S11.10.7., 185 * 125	印. ふせんあり. 赤鉛筆, 青鉛筆の書込あり.
78	農村生活改善指針	1, 190 * 130	印. 表紙のみ.
79	博物館調査	1, 文部省, S29.2.24., 260 * 180	印. 「昭和28年5月1日現在」の調査.
80	長谷観音 ゆかりの文学者(1)	1, 木村彦三郎著, 鎌倉長谷寺発行, S31.3.21., 150 * 105	印.
81	パリ国立近代美術館	1, S26.8.1., 255 * 180	謄写. 「国美資料第6号」, 「パリ国立近代美術館カタログ」の一部の翻訳.
82	日暮硯	3, 健民協会編, 健康生活研究所発行, S29.1.11., 245 * 170	謄写.
83	非常時局対応生活改善実行要目	1, 生活改善中央会発行, S12.11.3., 185 * 125	印.
84	比律賓と我が南洋 一太平洋の一角日本の南の海の生命線を巡りて一	1, 高橋清次郎著, フタバヤ書店発行, S12.12.30., 220 * 150	印. 棚橋の印あり.
85	米国内各博物館の教育事業に就いて	1, 星合正治著, 科学博物館事業後援会発行, S7.6.10., 220 * 150	印. 「東京科学博物館報告第一輯」. 赤線, 青線, 書込あり.
86	米国費府商業博物館の教育事業	1, 日本赤十字社発行, S2.2.-., 225 * 155	印. ふせんあり.
87	本邦博物館発達の歴史	13, 棚橋源太郎著, 日本博物館協会発行, S19.6.-., 210 * 150	印. 13冊中4冊に書込あり.
88	診て貰ふまで	1, 高田鄰徳著, 生活改善同盟会発行, S3.11.20., 220 * 150	印.
89	茗溪会員名簿 昭和三十二年	1, 茗溪会発行, S32.12.1., 260 * 180 * 20	印.
90	目黒不動の甘露祭り	1, 丸本彰造著, 目黒不動尊瀧泉寺 昆陽先生井遺徳顕彰会, S31.10.25., 210 * 155	謄写.
91	目のはたらきをしらべる ヒトの呼吸をしらべる	1, 中条 幸, 1958.-.-., 255 * 180	印. 「科学の実験」秋期臨時増刊の別刷.
92	やさぶろパンフ II	1, 下中弥三郎著, 道徳教育連合発行, S34.5.5., 180 * 125	印. 同連合代表の志垣寛の聞き書き.

93	養護訓導 執務要項精義	1, 岡田道一著, 明治図書 発行, S18.1.20., 185 * 135	印. 棚橋の印あり.
94	ラテン・アメリカ開発政策に於ける国際協力	1, ラテン・アメリカ中央会発行, S31.4.-., 215 * 155	印. 「配付資料第二号」. 国際連合の「調書」を翻訳したもの.
95	理科教育研究集録	1, 理科教育研究集録編集委員会, S33.10.25., 260 * 185	印.
96	立教大学 1959	1, [立教大学], 255 * 185	印. 大学案内パンフレット.
97	若手歌舞伎一周年記念特別興行	1, 260 * 180	印. パンフレット.
98	ワシントン国立美術館	1, 文部省社会教育局芸術課, S26.7.1., 260 * 180	T, 謄写. 赤線, 青線, 書込あり. 「国美資料第4号」. 「アメリカ国立ワシントン美術館刊行の冊子 National Gallery of Art (全16頁) 中1~6頁を翻訳したもの」.
99	私は成功した	1, チャールス・A・バルマー著, 新思潮社訳編. 発行, S30.11.10., 170 * 105	印. 寄贈の印あり.

(2) 逐次刊行物

	書名	点数, 著者, 発行者, 発行年, 書物サイズ	印刷方式, 備考
100	THE AMERICAN MUSEUM'S SCHOOL SERVICE 1927	1, GEORGE H. SHERWOOD [アメリカ], 1928.5.1., 250 * 170	印. 書込, 傍線あり. 表紙右上に鉛筆で「29」.
101	ANNUAL REPORT, 1928	1, SIR WILLIAM FURSE, Imperial Institute, [イギリス], 245 * 150	印.
102	Annual Report 1940	1, Museum of the City of New York, [アメリカ], 1941.-.-., 225 * 150	印. ふせんあり.
103	Annual Report of the Trustees, 1936	1, The Marine Museum of the City of New York, [アメリカ], 1937.-.-., 220 * 150	印. ふせんあり. 写真利用のため, 加筆あり.

104	THE AUXILIARY OF THE BROOKLYN CHILDREN'S MUSEUM	1, [アメリカ], 235 * 155	印. ふせん, 赤線あり. 表紙左上に「4—1」と記入.
105	BROOKLYN BOTANIC GARDEN RECORD	4, BROOKLYN INSTITUTE OF ARTS AND SCIENCES, [アメリカ], 1940-1941, 230 * 150	印. Vol. 29, No. 2, No. 4, Vol. 30, No. 2, No. 4. ふせん, 傍線, 書込などあり.
106	THE BROOKLYN MUSEUM QUARTERLY	1, WILLIAM HENRY FOX 編, [アメリカ], 1927.1.-., 245 * 170	印.
107	CHILDREN'S MUSEUM NEWS	1, THE BROOKLYN INSTITUTE OF ARTS AND SCIENCES, [アメリカ], 235 * 155	印. 本あるいは冊子の一部分. 傍線あり.
108	A Chronicle of Founding Years 1909-1934	1, The Newark Museum, [アメリカ], 265 * 190	印. ふせんあり. 誌中の図が切り取られている.
109	DEUTSCHER ALMANACH FÜR AQUARIEN-UND TERRARIENFREUNDE	1, DAS AQUARIUM, [ドイツ], 1935.-., 230 * 155	印. ふせん, 傍線あり. 「日本博物館協会之印」あり.
110	EDUCATIONAL WORK OF THE COMMERCIAL MUSEUM OF PHILADELPHIA, BULLETIN, 1920, No. 13	1, CHARLES R. TOOTHAKER, DEPARTMENT OF THE INTERIOR, BUREAU OF EDUCATION, [アメリカ], 1921.-., 230 * 150	印. ふせん, 線, 赤線あり. 図に加筆あり.
111	DIE GRUNDSTEINLEGUNG DES DEUTSCHEN HYGIENEMUSEUMS IN DRESDEN AM 7. UND 8. OCTOBER 1927	1, [ドイツ], 240 * 160	印.
112	Hobbie	3, Edmere Cabana Barcelona 編, The Buffalo Museum of Science, [アメリカ], 1939-1941., 225 * 150	印. Vol. 19, No. 5 (1939.6.), Vol. 21, No. 1, No. 4 (1941.10.). Vol. 19, No. 5 には, 表紙に「□ □ 博物館 □ 書館」の「15.3.6」付の印あり.
113	JAARVERSLAG VAN DE STICHTING HET VEILIGHEIDSMUSEUM 1922	1, [オランダ], 215 * 150	印. 表紙破損. ふせんあり.
114	Jahrbuch der Deutschen Museen	1, A. Schramm 編, Heckners Verlag, [ドイツ], 1931.-., 185 * 120	印. ふせん, 傍線, 書込あり.

115	KÖBSTADMUSEET DEN GAM- LEBY, AARBOG 1932 OG 1933	1, [スウェーデン], 250 * 170	印.
116	MARUZEN Announcement of New Books, Part A No. 727	1, 丸善発行, S29.1.15., 210 * 150	印.
117	The Masterkey Vol. XIV, No. 3	1, The Southwest Museum, [アメリカ], 1940.3.-., 195 * 125	印.
118	The Metropolitan Museum of Art Seventy-first Annual Report 1940	1, [アメリカ], 1941.-.-., 215 * 140	印.
119	Mitteilungen aus dem Zoologischen Museum in Berlin 23. Band 1. Heft	1, [ドイツ], 1938.-.-., 230 * 160	印.
120	Museum Service	2, The Rochester Museum of Arts and Sciences, [アメリカ], 1939-1940., 230 * 155	印. Vol. 12, No. 7, Vol. 13 No. 9. 後者には, プ リント「A Suggestion for Your First Visit」がはさ まれている.
121	NACSA NEWS 第3巻第3号	1, 日本アマチュア・シ ネ・スライド協会発行, S27.5.30., 255 * 180	印.
122	NATURE NOTES VOL.-XVI JANUARY-FEBRUARY NOS. 1-2	1, YELLOWSTONE NATIONAL PARK, [アメリカ], 275 * 210	T, 謄写.
123	PUBLIC SCHOOL MESSENGER, Vol. 24, No. 5	1, The Department of Instruction, St. Louis Public Schools, [アメリカ], 1927.6.30., 230 * 150	印. ふせん, 傍線あり. 棚橋の印あり.
124	Report of National Museum, 1893	1, 245 * 150	印. 表紙は破損. ふせ ん, 傍線あり.
125	REPORT OF THE ADVISORY COUNCIL OF THE SCIENCE MUSEUM FOR THE YEAR 1934	1, BOARD OF EDUCATION, HIS MAJESTY'S STATIONERY OFFICE, [イギリス], 1935.-.-., 245 * 150	印. 書込あり.
126	REPORT OF THE DIRECTOR OF THE AQUARIUM	1, New York Zoological Society, [アメリカ], 1940.6.-., 230 * 150	印. 赤鉛筆で傍線.
127	Report of the United States National Museum	2, Smithsonian Institution, United States Government Printing Office, [アメリカ], 1938-1941, 230 * 150	印. 1937年度版と1940 年度版. 後者には郵便は がきがはさまれている.
128	Report on the National Museum of Ireland	2, Department of Education, [アイルランド], 245 * 150	印. 1933-34, 1935-36. 後者の表紙に「□□博物 館図書館」の「15.□.6」 付の印あり.

129	A REPORT ON THE PUBLIC MUSEUMS OF THE BRITISH ISLES (OTHER THAN THE NATIONAL MUSEUMS)	1, SIR HENRY MIERS, [イギリス], 1928.-., 280 * 190	印. 赤線, 青線, 図への枠線書あり. 「昭和三年八月 カーネギー財団ヨリ寄贈」と記入. 「博物館事業促進会印」あり.
130	REPORT UPON THE CONDITION AND PROGRESS OF THE U. S. NATIONAL MUSEUM DURING THE YEAR ENDING JUNE 30, 1893	1, G. Brown Goode, Smithsonian Institution, [アメリカ], 1895.-., 240 * 160	印. 裏表紙欠損. 赤鉛筆, 青鉛筆で傍線.
131	Seventy-fifth Annual Report July 1, 1935-June 30, 1936	1, The Buffalo Society of Natural Sciences, [アメリカ], 225 * 150	印.
132	SEVENTY-FIRST ANNUAL REPORT FOR THE YEAR 1939	1, RUTH TYLER 編, THE AMERICAN MUSEUM OF NATURAL HISTORY, [アメリカ], 1940.5.1., 225 * 150	印. 目次に青線あり.
133	Sketch of the AAM, With Summary Reports for the Year ended April 30, 1951	1, The American Association of Museums, [アメリカ], 230 * 100	印.
134	STATENS ETNOGRAFISKA MUSEUM	2, [スウェーデン], 1936-1940., 235 * 160	印. 1935 年度版, 1939 年度版.
135	Summary of Reports for the Year ended April 30, 1941	1, The American Association of Museums, [アメリカ], 230 * 100	印. 書込あり.
136	TWENTY-FOURTH REPORT TO THE CITY COUNCIL, 1ST APRIL, 1927, TO 31ST MARCH, 1928	1, LEICESTER MUSEUM AND ART GALLERY, [イギリス], 245 * 150	印.
137	A Year at the Rochester Museum, 1950	1, The Rochester Museum Association, [アメリカ], 250 * 165	印.
138	あかほ No. 9	1, S29.3.1., 275 * 190	印. 「赤穂町公民館報」.
139	エムプレス・ニュース	2, エムプレス・ニュース社発行, S31-S34., 195 * 275	印. 第33号 (S31.10.25.), 第101号 (S34.3.15.).
140	大阪市民博物館報 第十二号	1, 市立大阪市民博物館, S4.-., 210 * 150	印. 赤鉛筆, 青鉛筆の記入あり.
141	大阪市立美術館年報 第七	1, 大阪市立美術館発行, S18.8.15., 210 * 145	印.
142	恩賜京都博物館年報 第三	1, 恩賜京都博物館発行, S17.11.25., 210 * 145	印.
143	科学教育ニュース No. 100	1, 大日本図書, S35.4.1., 260 * 180	印.

144	学校だより 第365号	1, 東京高等技芸学校発行, S35.1.11., 190 * 255	印.
145	カリキュラム 16号	1, コア・カリキュラム連盟編, 誠文堂新光社発行, S25.4.1., 255 * 180	印. 赤線あり.
146	教育	91, 茗溪会発行, S26-34., 260 * 180	印. 16 (S26.9.15.)-19, 20[3], 21[3], 22-40 (この号まで, 復刊第40号などと併記されている. 第40号は通算第777号でもある), 778-799, 800-807 [各2], 808, 809-811 [各2], 813-818, 819[2], 820, 821, 823-825, 827, 829, 830 (S34.6.1.) の各号. [ ]内は, 複数の場合. 829-830号は210 * 150. S30.6.1. 発行の「(教育) 附録」を含む.
147	教育と政治 第2号	1, 日本教育振興会発行, S34.6.15., 200 * 270	印.
148	教育評論新聞	4, 教育評論家協会発行, S34-35., 190 * 265,	印. 19 (S34.6.5.), 25, 27 (S35.8.25.) の各号. 27号は2冊あり.
149	教材ニュース 第506号月世界めざして	1, S34.12.25., 260 * 185	印. ポスター大の視聴覚教材.
150	9月のプラネタリウム	2, 天文博物館五島プラネタリウム, 1958.9.-, 220 * 150	印.
151	公民館月報	4, 全日本社会教育連合会編集, 発行 S27.2-6., 260 * 185	印. 41 (S27.2.1.), 42, 44, 45 (S27.6.1.) の各号.
152	国立博物館ニュース	165, 国立博物館発行 (60号からは東京国立博物館発行), S22-35., 400 * 290	印. 創刊号 (S22.9.1.) から第160号 (S35.9.1) まで. 15, 39, 44, 47, 58, 63, 64, 144, 149号が欠. 27-33, 35, 42, 43, 79, 80, 82, 107号が重複.
153	社会教育	2, 全日本社会教育連合会発行, S34.6-8., 255 * 185	印. 第14巻6月号 (S34.6.1.), 同巻8月号 (S34.8.1.). 6月号表紙には, 「交換」と「国立科学博物館図書館課」の「34.9.30」付の印.

154	週刊朝日	10, 朝日新聞社発行, S34-36., 255 * 185	印. 2096 (S 34.10.1.), 2097, 2099, 2106, 2110, 2112-2115, 2176 (S36. 3.30.) の各号.
155	週刊サンケイ 第十卷第十六号	1, 産経新聞出版局, S36.4.3., 255 * 180	印.
156	週刊新潮	2, 新潮社, S36.3-4., 255 * 180	印. 266号 (S36.3.27.), 267号 (S36.4.3.).
157	週刊文春 第三卷第十三号	1, 文芸春秋新社, S36.3.27., 255 * 180	印.
158	主婦のしるべ 第1巻第2号	1, 主婦連合会監修, 主婦のしるべ社発行, S34.4.10., 255 * 180	印.
159	証券週報 No. 1443	1, 山一証券調査部, S36.1.1., 260 * 180	印.
160	植物趣味 第11巻第3号	1, 村松義敏主筆, 東亜植物学会発行, 1949.10.1., 155 * 220	印. 資料 304 に同封.
161	新政経研究 第46号	1, 新政経研究会, S35.6.21., 245 * 175	印.
162	生活改善 [の合冊]	1, 生活改善同盟会発行, T12-13., 275 * 195 * 20	印. 『生活改善』誌七号 (T 12.2.11.) から廿六号 (T 13.12.31.) までの 20 冊. 紐綴, 表紙つき.
163	ダイヤモンド日報 昭和36年1月25日	1, 経済雑誌ダイヤモンド社発行, S36.1.25., 205 * 285	印.
164	中学のカリキュラム 創刊号	1, コア・カリキュラム 連盟編, 誠文堂新光社発行, S25.4.1., 255 * 180	印.
165	中国博物館協会会報 第二巻第三期	1, 中国博物館協会, [中華民国], 中華民国二 十六年一月 [1937年], 260 * 190	印. 雑誌の一部.
166	著作権ニュース	5, 日本著作権協議会発 行, S32-33., 265 * 185	印. 101 (S32.11.30.)- 105 (S33.3.31.) の各号.
167	電報電話新聞	3, 電気通信共済会関東 地方本部編, 発行, S30-35., 175 * 205,	印. 55号 (附録) (S30. 12.15.), 96号, 107号 (S35.1.15.).
168	東急グラフ	2, 東京急行発行, S32-34., 250 * 170	印. 20 (S32.3.1.), 71 (S34.4.1.) の各号. 前者 には「天文博物館 五島 プラネタリウム」の記 事.

169	桃寿 第29号	2, 桃寿会, S34.8.-., 265 * 185	印. 一方に, 「暑中御見舞い」と記入.
170	日本映画博物館建設準備会議 No. 2	1, 日本映画博物館建設準備会議連絡事務所, S35.12.5., 255 * 180	印.
171	日本教材新報	2, 日本教材新報社発行, S31. 6-7., 300 * 215	印. 4-6 (S31.6.20.), 4-7 (S31.7.20.).
172	日本の博物館事業報告 一九五二年	1, ,260 * 185	T, 謄写.
173	〔日本博物館協会会報 17号〕	1, 〔日本博物館協会〕, [S27.10.1.], 180 * 260	T, 謄写. 会報の一部. 40-41頁.
174	濃飛人	3, 岐阜県人協会発行, S31-35., 210 * 150	印. 173 (S 31.7.15.), 175, 218 (S35.9.15.) の各号.
175	博物館研究 第4・5合併号 号外 (其のII)	1, 日本博物館協会, 1954.8.9., 260 * 180	謄写.
176	批判	5, 日本教育振興会発行, S35-S36., 190 * 260	印. 1(S35.9.)-5(S36.1.) の各号.
177	毎日新聞 昭和36年4月4日夕刊.	1, 毎日新聞社, S36.4.4., 155 * 230	印. 1, 2, 7, 8面.
178	武蔵野 第32巻第1号	1, 武蔵野文化協会発行, S25.11.-., 210 * 145	印.
179	茗溪	15, 茗溪会発行, S34-36., 210 * 150	印. 832 (S 34.9.)-846 (S36.3.) の各号.
180	目黒寄生虫館月報 第21号	2, 目黒寄生虫館発行, S35.11.20., 65 * 195	印. 折られてホチキスで綴じられ, 棚橋宛ての封筒に入れられている.
181	目黒区広報 第125号	1, 目黒区役所発行, S34.11.10., 270 * 195	印.
182	文部時報 第七百三十号	1, 帝国地方行政学会, S16.7.11., 210 * 150	印. 書込, 赤線あり.
183	文部省ユネスコニュースレター	4, 文部省大臣官房渉外ユネスコ課発行, S26-27., 260 * 180	印. 6 (S26.3.15.), 7, 14, 15 (S27.5.20.) の各号. No. 7 の表紙左上に「12ページ御覧下さい」と記入.
184	読売新聞	2, 読売新聞社, S34-35., 275 * 200	印. S 34.12.20. と S35.12.5. 夕刊. 後者は 3, 4, 5, 6面のみ.
185	理科教室 第3巻第3号	1, 科学教育研究協議会編, 国土社発行, S35.3.1., 210 * 150	印.
186	立教	2, 立教大学発行, S32-33., 210 * 150	印. 1958・109 1957・7 の2冊.

## (3) 博物館等の施設案内・収蔵資料カタログ

	書名	点数, 著者, 発行者, 発行年, 書物サイズ	印刷方式, 備考
187	BILDER AF USTÄLLDA FÖREMÅL	1, NORDISKA MUSEET, 〔スウェーデン〕, 1912.-.-, 210 * 135	印.
188	THE CENTRAL INSTITUTION FOR PUBLIC HYGIENE	1, SEIRING, M. D. DEUTSHES HYGIENE MUSEUM, 〔ドイツ〕, 1928.9.-., 230 * 155	印.
189	THE CHILDREN'S MUSEUM OF BUDDHISM	1, 190 * 125	印. 日本の「佛教児童 博物館」の英文パンフ レット.
190	THE CLEVELAND MUSEUM OF NATURAL HISTORY	1, 〔アメリカ〕, 255 * 180	印.
191	THE COLLECTION OF MINERALS	1, HERBERT P. WHITLOCK, THE AMERICAN MUSEUM OF NATURAL HISTORY, 〔アメリカ〕, 1926.6.-., 250 * 170	印.
192	Le Conservatoire National des Arts et Métiers	1, 〔フランス〕, 1925.-.-, 220 * 135	印. ふせん, 書込あり. 資料 402 がはさまれてい た.
193	DEUTSCHES HYGIENE-MUSEUM UND SEIN INTERNATIONALER GESUNDHEITSDIENST	2, EGON ERICH ALBRECHT 編, 〔ドイツ〕, 1931.-.-, 250 * 180	印. 一冊には, ふせん, 青線あり. 他方には, ふ せんあり.
194	EARLY MEANS OF TRANSPORT IN THE EAST RIDING	1, T. SHEPPARD, The Museum, Hull, 〔イギリス〕, 1928.-.-, 210 * 140	印.
195	FRÅN TÅLT OCH TEMPEL I FJÄRRAN ÖSTERN	1, LILJEVALCHS KONSTHALL, 〔スウェーデン〕, 1932.1.-., 215 * 140	印.
196	FRILUFTSMUSEET PÅ NORSK FOLKEMUSEUM	1, NORSK FOLKEMUSEUM, 〔ノルウェー〕, 1951.-.-, 180 * 250	印.
197	A General Guide to the Collections	1, The Royal Scottish Museum Edinburgh, 〔スコットランド〕, 1929.-.-, 205 * 135	印. 表紙に「東京科学 博物館附属図書館」の 「8.8.11」付の印あり.

198	GENERAL GUIDE TO THE EXHIBITION HALLS	1, FREDERIC A. LUCAS 編, THE AMERICAN MUSEUM OF NATURAL HISTORY, [アメリカ], 1928.-.-., 245 * 170	印. ふせん, 赤線, 青線あり. 図に加筆あり. 資料404がはさまれていた.
199	GUIDE CATALOGUE	1, LE MUSÉE DU VAL DE GRACE, [フランス], 245 * 160	印. ふせんあり. 棚橋の印あり.
200	GUIDE GÉNÉRAL DU JARDIN DES PLANTES	1, MUSÉUM NATIONAL D'HISTOIRE NATURELLE, [フランス], 180 * 130	印. 資料597の中身.
201	GUIDE TO THE COLLECTIONS OF THE NORTHERN MUSEUM, STOCKHOLM	1, NORDISKA MUSEET, [スウェーデン], 1923.-.-., 210 * 140	印. 赤線, 青線, 書込あり.
202	A GUIDE TO THE MINERAL GALLERY	1, BRITISH MUSEUM (NATURAL HISTORY), [イギリス], 1921.-.-., 215 * 140	印. 赤線, 青線あり. 鉛筆の書込の消し跡あり.
203	GUIDE TO THE PEABODY MUSEUM OF AMERICAN ARCHAEOLOGY AND ETHNOLOGY	1, [アメリカ], 235 * 155	印. ふせんあり.
204	GUIDE TO THE ROYAL HUNGARIAN AGRICULTURAL MUSEUM	1, [ハンガリー], 1914.-.-., 205 * 120	印. 図へのメモ書あり.
205	The Historical and Ethnographical Department of Skansen	1, Axel Nilsson and Nils Keyland, The Northern Museum, [スウェーデン], 1923.-.-., 205 * 145	印. ふせんあり.
206	Historical Sketch and Description	1, W. W. R. FRENCH, The Art Institute of Chicago, [アメリカ], 1904.-.-., 195 * 135	印. ふせん, 赤線, 青線あり. 図に加筆あり.
207	KART OVER NORSK FOLKEMUSEUM	1, [ノルウェー], 1946.-.-., 200 * 115	印. 敷地内地図. 資料536の中身.
208	LENDING COLLECTION NEWARK MUSEUM	1, THE MUSEUM NEWARK, NEW JERSEY, [アメリカ], 1929.-.-., 245 * 175	印. ふせん, 棚橋の印あり. 図に枠線の記入.

209	A LIST OF IRISH BIRDS, SHOWING SPECIES CONTAINED IN THE NATIONAL COLLECTION	1, G. R. HUMPHREYS, [アイルランド], 1937.-.-., 215 * 140	印.
210	Museum Alexander Koenig, Bonn	1, [ドイツ], 195 * 235	印. 資料 405 とともに, 同博物館の封筒に入っていた.
211	MUSEUM OF FINE ARTS, BOSTON 1870-1920	1, [アメリカ], 230 * 155	印. ふせんあり. 表紙左上に「7-2」と記入. 図にメモ書あり. 図の切取りあり.
212	MUSEUM OF TRANSPORTATION	1, JAPANESE NATIONAL RAILWAYS, JAPAN TRAVEL BUREAU, 235 * 105	印.
213	National Gallery of Art, Washington, D.C.	1, [アメリカ], 1948.-.-., 230 * 150	印.
214	NATURE TRAILS AN EXPERIMENT IN OUT-DOOR EDUCATION	2, FRANK E. LUTZ, THE AMERICAN MUSEUM OF NATURAL HISTORY, [アメリカ], 1926.-.-., 230 * 155	印. 一方には表紙左上に「16」の印, 右上に「32」と記入. 他方には図への赤線, 青線あり. ふせんあり.
215	NORSK TEKNISK MUSEUM	1, [ノルウェー], 210 * 145	印.
216	The Open-Air Museum	1, Norsk Folkmuseum, [ノルウェー], 1953.9.-., 175 * 105	印. 資料 536 の中身.
217	OUTLINE GUIDE TO THE EXHIBITS	1, SCIENCE MUSEUM, SOUTH KENSINGTON, [イギリス], 1953.-.-., 210 * 135	印. ふせんあり.
218	Ratschläge für Schülerfahren zum Deutschen Museum in München	1, Hermann Weinreich, Deutsches Museum, [ドイツ], 220 * 145	印. 写真への記入あり.
219	A SHORT GUIDE TO THE EXHIBITION GALLERIES	1, BRITISH MUSEUM (NATURAL HISTORY), [イギリス], 1953.-.-., 215 * 140	印. T. WOODDISSE 発 J. OHWI (科博) 宛はがきがはさまれている.
220	Ständige Ausstellung für Arbeiterwohlfahrt, Reichsanstalt	1, [ドイツ], 220 * 145	印.

221	THE STORY OF THE MUSEUM'S SERVICE TO THE SCHOOLS	1, GEORGE H. SHERWOOD, THE AMERICAN MUSEUM OF NATURAL HISTORY, [アメリカ], 1927.-.-., 245 * 170	印. ふせんあり. 表紙左上に印で「16」とあり, 右上に「28」と記入.
222	SUMMARY GUIDE TO THE EXHIBITION GALLERIES	1, BRITISH MUSEUM (NATURAL HISTORY), [イギリス], 1922.-.-., 215 * 140	印. 赤線あり.
223	SUPPLEMENT CONTAINING ILLUSTRATIONS OF CATALOGUE OF THE MECHANICAL ENGINEERING COLLECTION	1, THE SCIENCE MUSEUM, SOUTH KENSINGTON, HIS MAJESTY'S STATIONERY OFFICE, [イギリス], 1919.-.-., 240 * 155	印. 表紙左上に「13-1」と記入. 図にメモ書きあり.
224	相川郷土博物館のしおり	1, 185 * 90	印. 資料 563 の中身.
225	赤穂郷土館案内	1, 赤穂町図書館, 赤穂郷土博物館発行, 135 * 190	印. 表紙に「贈 棚橋源太郎先生」と記入. 資料 563 の中身.
226	上野動物園案内	1, 1957.-.-., 175 * 190	印. 資料 618 の中身.
227	江の島水族館, 1, 110 * 200		印. 資料 602 の中身.
228	園一覧	1, 大典記念京都植物園発行, 190 * 130	印. 赤線, ふせんあり. 資料 597 の中身.
229	大阪市立自然科学博物館の概要	1, 255 * 180	印.
230	カウベ	1, 神戸市観光課発行, [1941.-.-.], 180 * 130	印. 「池長美術館特輯」. 資料 639 の中身.
231	旧福島コレクション展覧会目録	1, [1955.-.-.], 210 * 150	印. ふせんあり.
232	神戸高等工業学校 工業科学博物館 附設安全博物館 観覧案内	1, S15.9.-., 190 * 130	印. 赤線あり.
233	しおり	1, 釧路市立郷土博物館, 185 * 135	印. 資料 639 の中身.
234	志賀島	1, 250 * 100	印. 資料 602 の中身.
235	多摩動物公園	1, 京王帝都電鉄発行, 190 * 120	印. 資料 618 の中身.
236	玉野海洋博物館	1, 170 * 240	印. 資料 602 の中身.
237	月夜野	1, 月夜野町観光協会, 185 * 90	印.
238	通信博物館案内	1, 通信博物館, S17.-.-., 210 * 150	印. 資料 639 の中身.
239	通信博物館の現状と沿革	1, S30.2.-., 260 * 185	T, 謄写.

240	電気博物館概要	1, 東京都電気研究所附属電気博物館, 255 * 185	T, 謄写.
241	東京大学理学部附属 植物園案内	1, 東京大学理学部附属植物園発行, S28.9.1., 210 * 150	印. ふせんあり. 資料 597 の中身.
242	東京都電気研究所附属電気博物館概要	1, 250 * 180	謄写.
243	鳥羽水族館	1, 175 * 120	印. 資料 602 の中身.
244	野口博士不滅之精神	1, 野口記念会編集部編, 財団法人野口英世博士記念会発行, S29.6.5., 180 * 130	印. 野口英世博士記念館案内.
245	東山公園	1, 名古屋市役所発行, S31.3.1., 180 * 125	印. 表紙にゴム印で「昭和卅壹年四月七日」. 資料 618 の中身.
246	福井市立郷土博物館案内	1, 190 * 90	印. 資料 563 の中身.
247	〔「福岡市動物園」の園内地図〕	1, 210 * 190	印. ペンで「福岡市動物園」, 「香川勇」とある. 資料 618 の中身.
248	民族学博物館概要	1, 日本民族学協会, S31.4.1., 175 * 130	印. 資料 639 の中身.
249	武蔵野郷土館案内	1, 都立武蔵野郷土館編, 武蔵野文化協会発行, S29.12.1., 180 * 125	印. ふせんあり. 資料 639 の中身.
250	栗林公園動物園	1, 95 * 195	印. 資料 618 の中身.

## (4) 草稿・ノート・メモ類

	書名	点数, 著者, 発行者, 発行年, 書物サイズ	印刷方式, 備考
251	〔「Extract from American Museums」のノート〕	2, [棚橋源太郎], 250 * 175 * 20	ペン. 翻訳ノート. 一方の表紙に「(丙)」と記入. 2冊で厚さ 20 mm.
252	〔「足利氏滅亡後の戦国時代」の美術についての草稿〕	1, [棚橋源太郎], 180 * 230	ペン. 右上に「②」.
253	〔「アメリカ独立百年記念大博物館」についてのメモ〕	1, [棚橋源太郎], 100 * 255	ペン. 原稿用紙の一部.
254	〔アメリカの博物館界の発展についてのメモ〕	1, [棚橋源太郎], 255 * 80	ペン. 原稿用紙の一部.
255	〔アメリカの博物館史についての草稿〕	1, [棚橋源太郎], 260 * 180	ペン. 裏は「展示資料の解説と案内」.
256	〔ある展覧会についての草稿〕	1, [棚橋源太郎], 255 * 175	ペン. 赤鉛筆で「12」と記入.
257	〔ある博物館の館内構成についての草稿〕	1, [棚橋源太郎], 250 * 180	ペン. 左上に「12」. 裏は「理学標本受入数」.

258	[ある美術館の展示構成についての草稿]	1, [棚橋源太郎], 255 * 180	ペン. 右上に「11」と赤鉛筆で記入.
259	[「い, 社会教育思想の導入と博物館」の草稿]	1, [棚橋源太郎], 250 * 175	ペン, 鉛筆.
260	[「い, 社会教育思想の導入」の草稿]	1, [棚橋源太郎], 255 * 180	ペン. 裏は「博物館資料の排出について」.
261	[「い, 将来わが邦が完成すべき博物館の体系」の草稿]	1, [棚橋源太郎], 260 * 180	ペン, 赤鉛筆.
262	[「一, 美術館へ封建王侯の貢献」の草稿]	1, [棚橋源太郎], 250 * 180	ペン, 鉛筆. 一部が切取られている.
263	[英国の博物館の発展についてのメモ]	1, [棚橋源太郎], 255 * 85	ペン. 原稿用紙の一部.
264	[「大倉集古館」などについての草稿]	1, [棚橋源太郎], 255 * 135	ペン. 一部が切取られている.
265	[「お茶の水大塚時代の嘉納先生を想う」の草稿]	1, 棚橋源太郎, 220 * 160	ペン, 鉛筆, 赤鉛筆.
266	[「海外博物館誌抜粋 其一」の草稿]	1, [棚橋源太郎], 260 * 180 * 20	ペン, 赤ペン, 赤鉛筆, 青鉛筆. 表紙に「『博物館教育』資料」, 「博物館運動—最近の施設」と記入. 目次つき. 資料添付, ふせんあり.
267	[「改訂博物館学 博物館史」の草稿]	1, 棚橋源太郎, 280 * 220 * 25	ペン, 鉛筆, 赤鉛筆. ファイルにはさまれた草稿. 日本博物館協会徳川氏の『博物館・美術館史』用の「序」の草稿など含む.
268	[「学校教育と博物館関係事項」の草稿]	1, [棚橋源太郎], 260 * 180 * 5	ペン, 赤鉛筆, 青鉛筆. 新聞切抜き添付.
269	[「各国博物館の管理」の草稿]	1, [棚橋源太郎], 255 * 180	ペン. 右上に「③」, 「④」, 「⑤」.
270	[「活発な運営振り」の博物館についての草稿]	1, [棚橋源太郎], 250 * 175	ペン, 鉛筆, 赤鉛筆, 青鉛筆. 右上に「12」.
271	[「観光資源としての博物館」の草稿]	1, 棚橋源太郎, 265 * 185	ペン.
272	[「グード館長の提唱」についての草稿]	1, [棚橋源太郎], 255 * 180	ペン. 裏は「第七回山口県科学振興展覧会」.
273	[「グループ陳列」についての草稿]	1, [棚橋源太郎], 255 * 130	ペン. 裏は西欧の博物館の設立年のメモ.
274	[計算メモ]	1, [棚橋源太郎], 125 * 175	鉛筆, 赤鉛筆, 青鉛筆.
275	[「研究資料貯蔵室の組織」についての草稿]	1, [棚橋源太郎], 250 * 175	ペン. 一部が切取られている.
276	[「建設目的」のメモ]	1, [棚橋源太郎], 255 * 180	ペン.

277	[[「工芸品の展示」についての草稿]	1, [棚橋源太郎], 255 * 180	ペン. 裏は立教大学の 予定表.
278	[[「五, 活発な運営管理」のメモ]	1, [棚橋源太郎], 255 * 85	ペン. 原稿用紙の一部.
279	[[「国立博物館の管理」についての草稿]	1, [棚橋源太郎], 255 * 180	ペン, 赤鉛筆. 紙の貼 付あり.
280	[[「五 社会教育の嚮頭と博物館」の草稿]	1, [棚橋源太郎], 255 * 180	ペン. 裏は「(三) 植物 園資料分類及び目録法 (生活資料)」.
281	[[「ゴルキー歴史博物館」についての草稿]	1, [棚橋源太郎], 250 * 175	ペン.
282	[[「サイエンスミュージアムの大拡張」 の草稿]	1, [棚橋源太郎], 255 * 180	ペン. 裏は「昭和二十 八年度予算書」.
283	[[「財団の援助」についての草稿]	1, [棚橋源太郎], 250 * 180	ペン. 裏は英文のプリ ント.
284	[[「三, アメリカ博物館の急発展と特異 性」の草稿]	1, [棚橋源太郎], 255 * 180	ペン. 一部が切取られ ている.
285	[[「三, アメリカ博物館の急発展」につ いてのメモ]	1, [棚橋源太郎], 255 * 80	ペン, 鉛筆, 赤鉛筆. 原 稿用紙の一部.
286	[[「三, 教育機関としての博物館」につ いてのメモ]	1, [棚橋源太郎], 255 * 90	ペン. 原稿用紙の一部.
287	[[「三, 郷土保護と史跡の保存」につ いての草稿]	1, [棚橋源太郎], 250 * 175	ペン, 赤鉛筆.
288	[[「参考文献」の草稿]	1, [棚橋源太郎], 250 * 95	ペン. 欧米文献の一覧.
289	[[「三, 古美術博物館の陳列」の草稿]	1, [棚橋源太郎], 255 * 180	ペン.
290	[[「三, 十七八世紀の博物館」の草稿]	1, [棚橋源太郎], 260 * 180	ペン, 鉛筆.
291	[[「三省堂博物館 p.79 の第二行から」 についての草稿]	1, [棚橋源太郎], 250 * 175	ペン. 右上に「2」.
292	[[「事業計画案」の草稿]	1, [棚橋源太郎], 250 * 180	ペン. 書きだしのみ.
293	[[「室内空気の調節」のメモ]	1, [棚橋源太郎], 255 * 180	ペン, 鉛筆, 赤鉛筆, 青 鉛筆. 1枚目の左上に 「22」.
294	[[「社会教育者に博物館発達の次第」の 草稿]	1, [棚橋源太郎], 175 * 250	ペン.
295	[写真の割り付け草稿]	1, [棚橋源太郎], 255 * 180	ペン, 鉛筆. 写真3枚 分の割り付け草稿.
296	[[「将来の著作計画」の草稿]	1, [棚橋源太郎], 255 * 180	ペン, 赤鉛筆.
297	[昭和初期の博物館史についての草稿]	1, [棚橋源太郎], 180 * 255	ペン, 鉛筆, 赤鉛筆, 青 鉛筆. 裏は「自然科学 部門 各論 植物園」.

298	[[昭和廿九年度 博物館学概論]のノート]	1, 棚橋源太郎, 260 * 180	ペン, 赤ペン, 赤鉛筆, 青鉛筆.
299	[[昭和廿九年度 抜粋録 其二]のノート]	1, [棚橋源太郎], 260 * 180 * 20	ペン, 赤鉛筆, 青鉛筆. 海外雑誌の翻訳ノート. 「博物館の歴史」の草稿もあり.
300	[[「食生活の合理化」の草稿]	1, [棚橋源太郎], 180 * 255	ペン, 鉛筆. 1枚の裏は, 「全国の漁業者諸君え」.
301	[[震災後の東京博物館についての草稿]	1, [棚橋源太郎], 180 * 260	ペン.
302	[[「人類と歴史の博物館資料」の草稿]	1, [棚橋源太郎], 260 * 180 * 10	ペン, 鉛筆, 赤鉛筆, 青鉛筆. 表紙に「考古学」, 「デンマーク国立博物館」などと記入. 新聞の切抜き添付. 目次つき.
303	[[「西洋博物館史」についての草稿]	1, [棚橋源太郎], 255 * 180	ペン. 右上に「2」.
304	[[「世界の動物園」の草稿]	1, [棚橋源太郎], 320 * 235 * 15	ペン, 鉛筆, 赤鉛筆. 資料160と封筒に入っている.
305	[[「一九五九年度 博物館学講義 室内見学案」の草稿]	1, [棚橋源太郎], [1959.-.-.], 260 * 180	ペン, 赤ペン, 鉛筆, 赤鉛筆. 第26回までの計画.
306	[[「総括的説明札」についての草稿]	1, [棚橋源太郎], 260 * 180	ペン. 裏は「第三回全国博物館大会資料目録」.
307	[[「第一編 欧米博物館の発達」の目次の草稿]	1, [棚橋源太郎], 250 * 180	ペン, 鉛筆. 第五章まで.
308	[[「第九章 博物館の土地建物」の草稿]	1, [棚橋源太郎], 255 * 180	ペン, 鉛筆, 赤鉛筆, 青鉛筆. ノンブルが18-21頁.
309	[[「第五章」構成のメモ]	1, [棚橋源太郎], 250 * 180	ペン, 赤鉛筆, 青鉛筆.
310	[[「第五章 昭和の初めから太平洋戦争までの博物館」の草稿]	1, [棚橋源太郎], 255 * 185	ペン. 紙の貼り付けあり.
311	[[「第五章 米国博物館の急発展」の目次の草稿]	1, [棚橋源太郎], 255 * 180	ペン, 鉛筆, 赤鉛筆.
312	[[「第三章 明治時代前期の本邦博物館」の目次の草稿]	1, [棚橋源太郎], 185 * 260	ペン. 第六章まで. 右上に「①」, 「②」.
313	[[「第二節 博物館・美術館の陳列法」の草稿]	1, [棚橋源太郎], 265 * 185	ペン, 鉛筆, 赤鉛筆, 青鉛筆.
314	[[「第八章 内外国博物館の協同活動」の草稿]	1, [棚橋源太郎], 255 * 185	ペン.

315	[[「第四章収集品の展示」についての草稿]	1, [棚橋源太郎], 275 * 185	ペン, 赤鉛筆. 紙の貼付あり. ノンブル1-36頁.
316	[[「第四章 明治後半大正」の目次の草稿]	1, [棚橋源太郎], 180 * 250	ペン, 鉛筆, 赤鉛筆, 青鉛筆. 第六章まで.
317	[[「第六章 第一次世界大戦後 博物館美術館」のメモ]	1, [棚橋源太郎], 255 * 40	ペン. 原稿用紙の切れ端.
318	[[「第六章 第一次大戦後の博物館・美術館」の草稿]	1, [棚橋源太郎], 255 * 180 * 15	ペン, 赤鉛筆, 青鉛筆.
319	[[「第六章 大戦後の博物館美術館」の草稿]	1, [棚橋源太郎], 180 * 255	ペン.
320	[[「第六章 博物館の管理」の草稿]	1, [棚橋源太郎], 260 * 180	ペン, 赤鉛筆, 青鉛筆. ノンブル「①」から「⑥」.
321	[[棚橋源太郎の留学などについての草稿]	1, [棚橋源太郎], 255 * 180	ペン, 赤鉛筆.
322	[[棚橋源太郎のレポートについてのメモ]	1, 180 * 255	ペン.
323	[[「ダビド・モレー」についてのメモ]	1, [棚橋源太郎], 180 * 250	ペン. 裏は, 試験日程のプリント.
324	[[「陳列品の展示」の草稿]	1, [棚橋源太郎], 255 * 180	ペン, 赤鉛筆, 青鉛筆.
325	[[「通俗教育思想」などについてのメモ]	1, [棚橋源太郎], 255 * 70	ペン. 原稿用紙の一部.
326	[[「帝室博物館などについての草稿]	1, [棚橋源太郎], 250 * 175	ペン, 鉛筆.
327	[[「展示室の利用方法についての草稿]	1, [棚橋源太郎], 255 * 180	ペン.
328	[[「展示場の工夫」についての草稿]	1, [棚橋源太郎], 180 * 260	ペン.
329	[[「東京博物館」の歴史についての草稿]	1, [棚橋源太郎], 260 * 180	ペン, 赤鉛筆.
330	[[「動植物園水族館」についての草稿], 1, [棚橋源太郎], 250 * 180		ペン. 裏表連続. 右肩に「3」, 「4」.
331	[[「特別展覧会」での展示についての草稿]	1, [棚橋源太郎], 250 * 180	ペン.
332	[[「と, コーペンハーゲン博物館」の草稿]	1, [棚橋源太郎], 255 * 180	ペン. 紙の貼り付けあり.
333	[[「トロカデロ宮の民族誌博物館」についての草稿]	1, [棚橋源太郎], 255 * 180	ペン. 裏は「第三節 本邦博物館の発達」の草稿.
334	[[「に, 最近の美術館博物館施設」の草稿]	1, [棚橋源太郎], 255 * 180	ペン, 鉛筆.

335	[日本の博物館を列挙したメモ]	1, [棚橋源太郎], 180 * 225	ペン, 鉛筆, 赤鉛筆, 青鉛筆. 裏は「岐阜県学寮役員」名簿.
336	[[「日本博物館協会の設立」の草稿]	1, [棚橋源太郎], 255 * 185	ペン.
337	[[「年頭の感」の草稿]	1, 棚橋源太郎, 185 * 260	ペン, 鉛筆, 赤鉛筆.
338	[ノート(草稿帳)]	1, [棚橋源太郎], 200 * 160	ペン, 鉛筆, 赤鉛筆, 青鉛筆にて記入. 用紙がとじられ, めくれない部分あり. 図の貼りつけあり.
339	[ノート(メモ帳)]	1, [棚橋源太郎], 200 * 160	ペン, 鉛筆, 赤鉛筆, 青鉛筆にて記入. 用紙がとじられ, めくれない部分あり.
340	[[「ハ, アメリカ」の草稿]	1, [棚橋源太郎], 255 * 195	ペン, 鉛筆.
341	[[「博物館学外国雑誌抜粋」のノート]	1, [棚橋源太郎], 「1958 年秋」, 250 * 180 * 20	ペン, 赤ペン. ふせんあり. 「研究解決を要する諸問題」の記入もあり.
342	[[「博物館学講義実習案」のノート]	1, [棚橋源太郎], 230 * 180 * 10	ペン, 赤ペン, 赤鉛筆, 青鉛筆. 「昭和三十四年度」のもの.
343	[博物館学講義日程]	1, [棚橋源太郎], 255 * 180	ペン, 赤ペン, 赤鉛筆. 第17回から第22回までについて.
344	[[「博物館学試験問題」の草稿]	1, 棚橋源太郎, S31-34., 230 * 165	ペン, 赤ペン, 鉛筆, 赤鉛筆. 封筒に入っている.
345	[[「博物館関係諸問題(歴史中心)」の草稿]	1, [棚橋源太郎], 255 * 180 * 35	ペン, 赤鉛筆, 青鉛筆. ふせんあり. 目次つき.
346	[博物館建設目的の変遷についてのメモ]	1, [棚橋源太郎], 255 * 180	鉛筆.
347	[[「博物館史改定資料」の草稿]	1, [棚橋源太郎], 255 * 180	ペン. 右上に「1」.
348	[博物館史に関わる人物についてのメモ]	1, [棚橋源太郎], 185 * 260	ペン, 鉛筆. 裏は「博物館の展示法」.
349	[[「博物館史の改定点」のメモ]	1, [棚橋源太郎], 245 * 185	ペン.
350	[[「博物館史」の草稿]	1, 棚橋源太郎, S27.10.-., 250 * 175 * 25	ペン, 赤ペン, 赤鉛筆, 青鉛筆. 「本稿は昭和廿七年の夏芸術大学の学芸員講習会で講演した講義要綱に少しばかり改訂を加えたものである」.

351	[博物館史の論文の構成のメモ]	1, [棚橋源太郎], 260 * 140	ペン, 赤鉛筆, 青鉛筆. 裏は「大ニ会満40年記念撮影」.
352	[博物館の展示についての草稿]	1, [棚橋源太郎], 255 * 180	ペン. 裏は立教大学博物館学の選択科目受講一覧.
353	[[博物館の分野]のメモ]	1, [棚橋源太郎], 185 * 255	ペン.
354	[博物館の歴史に関するメモ]	1, [棚橋源太郎], 175 * 250	ペン, 鉛筆, 赤鉛筆, 青鉛筆. 「第一回」から「第五回」の分.
355	[[博物館美術館建設の動因]の草稿]	1, [棚橋源太郎], 255 * 180	ペン.
356	[[博物館・美術館史 口絵]の草稿]	1, [棚橋源太郎], 255 * 180 * 5	ペン, 赤鉛筆. 口絵に掲載する「希望の資料」一覧とその割り付け案.
357	[[博物館 美術館史原稿 其二]の草稿]	1, [棚橋源太郎], 260 * 180	ペン, 赤鉛筆.
358	[[博物館美術館史]の序の草稿]	1, 棚橋源太郎, S31.-.-, 250 * 180	ペン.
359	[[博物館美術館史]の序の草稿]	1, 棚橋源太郎, S31.-.-, 255 * 180	ペン.
360	[[博物館美術館史]の目次の草稿]	1, [棚橋源太郎], 255 * 180	ペン, 鉛筆, 赤鉛筆. 第7章まで.
361	[[博物館美術館史目次]の草稿]	1, [棚橋源太郎], 255 * 180	ペン, 鉛筆. 第6章まで.
362	[[博物館美術館史 目次]の草稿]	1, [棚橋源太郎], 255 * 180	ペン. 後編第7章まで.
363	[[博物館・美術館の歴史と運営]の目次の草稿]	1, [棚橋源太郎], 230 * 180	ペン, 赤鉛筆, 青鉛筆. 第三編八章まで.
364	[[博物館・美術館の歴史と運営 目次]の草稿]	1, [棚橋源太郎], 250 * 175	ペン. 第1編第四章まで.
365	[[は, 新設の博物館]の草稿]	1, [棚橋源太郎], 250 * 180	ペン.
366	[[抜粋其四 博物館陳列の美学]の草稿]	1, [棚橋源太郎], 265 * 185	ペン, 赤鉛筆, 青鉛筆.
367	[[美術館資料 海外美術博物館関係論説]の草稿]	1, [棚橋源太郎], 260 * 180 * 35	ペン, 赤ペン, 赤鉛筆, 青鉛筆. 目次つき. ふせんあり.
368	[美術館についての草稿]	1, [棚橋源太郎], 260 * 180 * 15	ペン, 赤鉛筆.
369	[[美術博物館]の表題]	1, 棚橋源太郎, 255 * 175	ペン, 鉛筆. ペンで「棚橋源太郎著 美術博物館 其一」, 鉛筆で「四百字詰 三一〇枚 挿絵四四枚」と記入.

370	[[美術博物館補充訂正録 別冊 其二]の草稿]	1, [棚橋源太郎], 260 * 180 * 15	ペン, 赤鉛筆, 青鉛筆. ふせんあり.
371	[フランス語についてのメモ]	1, 175 * 250	鉛筆.
372	[フランスの国立博物館についての草稿]	1, [棚橋源太郎], 260 * 185	ペン, 赤鉛筆. 裏は「資料収集保管法内容項目」.
373	[[フランス博物館連合]についての草稿]	1, [棚橋源太郎], 255 * 180	ペン, 赤鉛筆. 裏は, 「いん石の鑑定に就て」.
374	[[フランス美術展覧会の成果]の草稿]	1, [棚橋源太郎], 250 * 180	ペン.
375	[[フランス], 仏語についてのメモ]	1, [棚橋源太郎], 230 * 180	ペン.
376	[[府立大阪博物場]についての草稿]	1, [棚橋源太郎], 250 * 180	ペン, 赤鉛筆. 「369」から 「375」, 「377」のナンバリング.
377	[[不老延命の科学]の草稿]	1, [棚橋源太郎], 290 * 220 * 40	ペン, 赤ペン, 青鉛筆. 紙箱入り.
378	[[不老延命の科学]の草稿]	1, 棚橋源太郎, S23.2.-., 270 * 195 * 10	ペン. 赤ペン. 「はしがき」 にはじまる.
379	[文化財保護委員会についての草稿]	1, [棚橋源太郎], 255 * 180	ペン.
380	[文化財保護についての草稿]	1, [棚橋源太郎], 255 * 190	ペン, 鉛筆. 用紙の切り 貼りあり.
381	[文化財保護についてのメモ]	1, [棚橋源太郎], 250 * 175	ペン.
382	[[米国デトロイト市立美術館]についての草稿]	1, [棚橋源太郎], 255 * 180	ペン. 用紙の切り貼りあり.
383	[[米国博物館の発達]などについての草稿]	1, [棚橋源太郎], 260 * 185 * 20	ペン, 赤ペン, 鉛筆, 赤 鉛筆, 青鉛筆. 目次つき.
384	[[ (別冊) 美術館資料]の草稿]	1, [棚橋源太郎], 260 * 180 * 15	ペン, 赤ペン, 赤鉛筆, 青鉛筆. 目次つき. ふ せんあり. 表紙に「重要」 とあり.
385	[[ボストン美]などについてのメモ]	1, [棚橋源太郎], 255 * 180	ペン, 鉛筆.
386	[[本邦博物館発達の歴史]の増補, 改訂の草稿]	1, [棚橋源太郎], 210 * 150	印刷されたものにペン, 鉛筆, 赤鉛筆. 『本邦博 物館発達の歴史』(棚橋 著, 日本博物館協会, S19.6)の表紙が「博物 館の諸問題」と改題さ れ, 本文が改訂増補さ れている.
387	[[明治の教育を語る]の草稿]	1, [棚橋源太郎], 255 * 180	ペン, 鉛筆, 赤鉛筆.

388	[[「四、斬新な設備 活発な運営振り」の草稿]	1, [棚橋源太郎], 255 * 165	ペン.
389	[[「歴史の収集品と陳列品」の草稿]	1, [棚橋源太郎], 255 * 185	ペン, 赤鉛筆.
390	[レポート題目のメモ]	1, [棚橋源太郎], 250 * 175	ペン.
391	[[「ろ, 路傍博物館」の草稿]	1, [棚橋源太郎], 255 * 125	ペン. 原稿用紙の一部.

## (5) 写真・絵はがき

	書名	点数, 著者, 発行者, 発行年, 書物サイズ	印刷方式, 備考
392	[[「EXPOSITION D'ART FRANÇIS」の絵はがき]	1, 210 * 125	資料 639 の中身.
393	[[「ÜBERSEE-MUSEUM, BREMEN」の絵葉書]	2, 105 * 145	資料 536 の中身.
394	[[「網走市立網走郷土博物館」の写真]	1, 125 * 175	写真には「北見郷土館」の札がある. 資料 563 の中身.
395	[アメリカの美術館の写真]	7, 190 * 160	ボストン美術館, シカゴ美術館などの写真. 資料 639 の中身.
396	[欧米の博物館関係の写真]	11, 180 * 140	オランダの「クレラー・ミュラー美術館」, スカンセンの写真など. 資料 639 の中身.
397	[[「敬老のつどい」の「記念写真」]	1, 東京都民生局, S35.10.17., 270 * 195	挨拶状あり.
398	[[「正倉院特別展観」の郵便はがき]	1, 奈良帝室博物館, 140 * 90	図は, 正倉院御物の「色紙詩序一部」.
399	[[「正倉院特別展観」の郵便はがき]	1, 奈良帝室博物館, 140 * 90	図は, 正倉院御物の「天平宝字二年六月一日献物帳」.
400	[植物園の写真]	5, 150 * 180	資料 597 の中身.
401	[水族館の写真]	3, 145180	資料 602 の中身.
402	[[「世界最初の大理工学博物館」の写真]	1, 135 * 160	「パリ サンマルタンデシャン古寺院利用」と説明. 資料 192 には含まれていた.
403	[動物園の写真]	4, 150 * 180	資料 618 の中身.
404	[[「動物の進化 (中世代)」の写真]	1, 225 * 120	「国立科学博物館」のジオラマ展示. 写真の裏に鉛筆にて資料についての説明. 資料 198 には含まれていた.

405	[動物の展示の絵はがき]	13, Zoolg. Reichsmuseum. Alexander Koenig, Bonn, 90 * 140	資料 210 と同封.
406	[日本の博物館の写真]	4, 290 * 190	旧帝室博物館, 山下門内博物館 (2 枚), 北海道大学農学部附属博物館. 資料 631 の中身.
407	[日本の美術と美術館の写真]	2, 115 * 155	「大倉集古館」, 「京都西本願寺」の写真. 資料 633 の中身.
408	[日本美術関係の写真]	7, 165 * 115	正倉院, 法隆寺などの写真. 資料 639 の中身.
409	[美術館, 西洋美術の写真]	7, 170 * 140	「ヴァチカン博物館」, 「エルミタージュ美術館」, 「ルーヴル宮内」などの写真. 資料 633 の中身.
410	[[「ブルックリン児童博物館室内作業採集した蝶蛾の展翅」の写真]	1, 145 * 145	裏に鉛筆でメモあり.
411	[[「ブルックリン児童博物館」の写真]	1, 130 * 155	裏に鉛筆でメモあり.
412	[[『モナ・リザ』にみとれる人々の写真]	2, 190 * 245	同じ構図の大小 2 枚. 大きい方に「阿部徹雄」の住所印あり. 資料 633 の中身.

(6) 博物館や学芸員養成に関するその他の資料

	書名	点数, 著者, 発行者, 発行年, 書物サイズ	印刷方式, 備考
413	AMENDEMENT TO THE CONSTITUTION OF ICOM	1, ICOM, 1956.2.1., 270 * 210	印.
414	AMENDMENTS TO THE BY-LAWS	1, ICOM, 1953.7.11., 210 * 135	印.
415	AMENDMENTS TO THE CONSTITUTION	1, ICOM, 1953.7.11., 210 * 135	印.
416	BY-LAWS	1, ICOM, 1951.7.3., 210 * 135	印.
417	CONSTITUTION	1, ICOM, 185 * 255	T, 謄写.
418	HISTORY OF MUSEUM EDUCATION ACTIVITIES IN JAPAN UP TO WORLD WAR II	1, Kioe Yonemura, 1954.9.30., 285 * 220	T, 謄写.
419	ICOM 第三回総会開催について	2, 1953.2.1., 260 * 190	T, 謄写. 日本語訳. 一方には, 英文も添付.

420	ICOM 日本委員会総会	1, 1959.2.26., 255 * 175	謄写.
421	[[ICOM 日本委員会総会開催について]の案内]	1, ICOM 日本委員会発, 棚橋源太郎宛, S34.2.19., 255 * 175	T, 謄写.
422	ICOM 日本委員会名簿	1, 255 * 180	T, 謄写.
423	[ICOM 日本委員の留任依頼]	1, 国際博物館会議日本 国内委員会発, 棚橋源太郎宛, S31.4.7., 250 * 180	T, 謄写.
424	[ICOM の活動についての手紙]	1, Georges Henri Riviere 発, ICOM 会員宛, 1953.4.30., 135 * 210	印.
425	[ICOM の議事について]	1, ICOM, 1956.2.1., 270 * 210	印.
426	The Museums Association Jubilee Conference	1, 1939.7.3-8., 205 * 125	印.
427	赤穂町埋蔵文化財調査票 一各種遺跡 関係一	1, 270 * 190	謄写.
428	赤穂町埋蔵文化財調査票 (縄文式遺 跡) 一聚落遺跡関係一	1, 270 * 190	謄写.
429	赤穂町埋蔵文化財調査票 (土師以降遺 跡) 一聚落遺跡関係一	1, 270 * 190	謄写.
430	赤穂町埋蔵文化財調査票 (弥生式遺 跡) 一聚落遺跡関係一	1, 270 * 190	謄写.
431	アジアおよび太平洋地域博物館セミ ナーの傍聴について (回答)	1, 文部省社会教育施設 主任官発, 棚橋源太郎宛, S35.8.27., 140 * 90	謄写. はがき.
432	イコム日本委員会暫定規約案	1, 260 * 185	T, 謄写.
433	移動科学博物館実施計画	1, 日本博物館協会, 日本 自然科学協会, S25.6.1., 265 * 180	T, 謄写. 表紙に「第二 案 資源科学研究所 鈴木好一博士案」, 「棚橋氏」とある.
434	移動博物館事業開始に要する経費	1, 250 * 175	ペン.
435	上野動物園利用者の実態	1, 東京都恩賜上野動物 園管理課長 佐藤保雄, S28.11.-., 255 * 180	T, 謄写.
436	英国の学芸員試験	1, 250 * 180	T, 謄写.
437	英国博物館協会学芸員免許試験問題 (例)	1, 文部省社会教育施設 課, 1956.2.1., 260 * 180	T, 謄写. 資料 472 とホ チキスどめ.
438	オリエンテーション資料	1, 255 * 190	T, 謄写. 学芸員養成課 程に関するもの.
439	学芸員講習講義要項	1, 東京芸術大学, S29.-.-., 255 * 180	謄写. 青線あり.

440	[学芸員講習の講義資料]	1, 鈴木, 青木章心など, 265 * 185 * 35	謄写. 赤線あり.
441	学芸員試験認定試験日程表	1, 180 * 260	T, 謄写.
442	学芸員の講習科目	1, 185 * 260	謄写.
443	学芸員の講習講師名簿	1, S27.7.15., 260 * 180	T, 謄写.
444	学芸員免許規則	1, 255 * 180	謄写. 「社会教育施設分科審議委員」である棚橋源太郎による, 英国博物館協会の調査.
445	[学芸員養成課程に関するプリント]	1, 250 * 180	謄写. ペン, 鉛筆で書込. 立教大学のものか. 32, 33 ページのみ.
446	[学年末試験の依頼の手紙]	1, 立教大学文学部長発, 棚橋源太郎宛, S30.1.-., 250 * 180	謄写.
447	各論 水族館	1, 255 * 180	謄写. 講義の要綱.
448	館種別 資料の区分別資料数	1, 255 * 180	謄写.
449	観覧教育関係参考文献	1, 185 * 260	T, 謄写.
450	[[クレラ・ミューラー美術館]の所蔵品]	1, 210 * 130	印. 雑誌の切抜き. 資料 639 の中身.
451	国際博物館会議 (ICOM)	1, S26.5.9., 260 * 180	謄写. 書込あり.
452	国際博物館会議 (The International Council of Museums, 略称 ICOM) について	1, 255 * 180	T, 謄写. 「イコム日本委員会について」も添付.
453	国際博物館会議憲章	1, 270 * 185	T, 謄写.
454	国際博物館会議憲章及び細則	1, 260 * 185	T, 謄写. 正誤表あり. 日本語訳.
455	国際博物館キャンペーン実施要項案	2, [1956.-.-.], 255 * 180	T, 謄写. 一方の左上に「6」の印あり.
456	国際博物館週間のつどい人員配置案	1, 270 * 190	謄写.
457	国立科学博物館評議員名簿	1, S27.12.1., 255 * 180	謄写.
458	国立民俗博物館設置方に関する建議書	1, 財団法人日本民族学協会, 日本人類学会, S28.8.10., 250 * 180	T, 謄写.
459	[[財団法人科学博物館後援会]の役員委嘱依頼書]	1, 国立科学博物館長発, 棚橋源太郎宛, S35.11.26., 260 * 180	タイプ印刷. 「財団法人科学博物館後援会要覧」と封筒に入っている.
460	自然科学史の講義要綱	1, 湯浅光朝, 255 * 175	謄写.
461	自然科学部門 各論 植物園	1, 260 * 185	謄写. 「昭和 27 年度学芸員講習会講義要綱」.
462	実務講習における協議題目	2, 180 * 260	謄写.
463	社会教育施設拡充計画図書館	2, 260 * 190	謄写.

464	社会教育施設整備基本資料	1, 文部省社会教育局社会教育施設課, S28.9.-., 175 * 245	謄写.
465	社会教育施設設置状況	1, S31.-.-., 260 * 180	謄写.
466	社会教育施設設置数一覧	1, 250 * 180	謄写. 昭和30年の調査結果.
467	社会教育施設に対する現行助成担置要綱	1, 文部省社会教育施設課, S28.12.3., 255 * 185	T, 謄写.
468	社会教育施設分科審議会委員名簿	1, 155 * 180	T, 謄写.
469	社団法人日本博物館協会名簿	1, S28.11.-., 255 * 180	T, 謄写.
470	昭和35年度「全国博物館週間」の実施について	1, 日本博物館協会, S35.8.20., 255 * 185	T, 謄写.
471	昭和30年度学芸員資格認定完了について	1, 文部省社会教育局長 発, 棚橋源太郎宛, S31.3.6., 250 * 180	T, 謄写. 「文社施第262号」.
472	昭和30年度学芸員試験認定実施打合せについて	1, 文部省社会教育局長 発, 棚橋源太郎宛, S31.2.3., 260 * 185	タイプ印刷. 「文社施第256号」. 資料437とホチキスどめ.
473	昭和三十年度学芸員試験認定問題作成及び採点委員	1, 255 * 180	T, 謄写.
474	昭和30年度学芸員認定試験問題	1, 190 * 255	T, 謄写.
475	昭和30年度社会教育施設課概算要求事項別表	1, 255 * 260	謄写.
476	昭和三十年度博物館講座選択者一覧	1, [立教大学] 文学部教務課, 250 * 180	謄写.
477	昭和34年度 博物館学講座 選択届一覧表	1, [立教大学] 文学部教務課, 180 * 260	謄写.
478	昭和二十九年度 学芸員講習講義録	1, 東京芸術大学, 260 * 180 * 20	謄写. 表紙にペンで「棚橋源太郎先生」と記入.
479	昭和二十九年度学芸員講習講師名簿	1, 東京芸術大学, 260 * 185	T, 謄写.
480	昭和27年度 学芸員の講習受講者名簿	2, 190 * 260	謄写. 一方は1枚落丁.
481	昭和27年度博物館(登録)の実態	1, 180 * 260	謄写. 「28.1.1. 現在」のもの.
482	昭和二十八年度東京芸術大学学芸員受講者名簿	1, 255 * 180	T, 謄写.
483	昭和28年度における博物館に関する科目を設置する大学	1, 260 * 180	T, 謄写.
484	スイスの主要美術館における陳列品の取得方法	2, 260 * 190	T, 謄写.

485	一九五八年度グッゲンハイム賞について	1, 国際博物館会議日本国内委員会発, 各委員宛, S32.9.16., 250 * 180	謄写.
486	[専門部会への協力の依頼文]	1, 日本博物館協会発, S28.5.19., 260 * 180	T, 謄写. 右上に「2」.
487	第3回全国博物館大会申込者	1, 260 * 185	謄写.
488	第6回全国博物館大会参加者名簿	1, [1958.11.17-19.], 190 * 255	謄写.
489	第6回大会打合資料	1, S33.10.30., 260 * 180	謄写. 博物館大会の打合資料.
490	東京芸術大学昭和28年度学芸員講習受講者名簿	1, 185 * 260	謄写.
491	二十八年度学芸員講習科目履修表	1, S28.6.10., 255 * 180	謄写. 赤ペンの書込あり.
492	日本博物館協会事業, 学術連絡合同部会連絡委員氏名	1, 260 * 180	T, 謄写.
493	望ましい基準案とその実態	1, 260 * 185	謄写.
494	博物館概論	1, 棚橋源太郎, 深見吉之助など, 260 * 185	謄写. 「講習講義資料」.
495	博物館学講座 選択届一覧表	1, [立教大学] 文学部教務課, [S33.-.-], 180 * 255	謄写.
496	[[博物館学実習レポート] についての書類]	1, 棚橋源太郎発, 文学部長宛, S34.9.26., 230 * 180	ペン. 棚橋の印あり. レポートの内容, 提出期限等の報告.
497	[[博物館学科試験問題] の報告]	1, 棚橋源太郎発, [立教大学] 文学部長宛, S31.1.-., 180 * 230	ペン. 棚橋の印あり.
498	博物館活動と学校教職員との関係について	2, 文部省社会教育施設課 ICOM 日本委員会, S29.11.1., 260 * 180	T, 謄写. 一方は裏表紙が破損.
499	博物館関係参考文献	1, 立教大学博物館講座, S28.6.-., 255 * 180	謄写.
500	博物館関係法令	1, 日本博物館協会, 210 * 150	印. ふせん, 赤線, 青線あり. 資料 631 の中身.
501	博物館講座選択届一覧 昭和31年度	1, [立教大学] 文学部教務課, 260 * 180	謄写. 表紙に「棚橋講師」と記入.
502	博物館講座 履修指導要項	1, 立教大学, [1956.-.-], 250 * 155	謄写.
503	博物館参考法令	2, 文部省社会教育施設課発行, S29.11.20., 260 * 185	T, 謄写. 一方に赤線あり. 書込の跡あり.

504	[博物館実習に関する会合への案内]	1, 立教大学総長発, 棚橋源太郎宛, S31.6.21., 250 * 180	T, 謄写.
505	博物館新設計画	1, S28.4.1., 260 * 180	T, 謄写.
506	博物館的研究と大学の研究	1, 260 * 185	T, 謄写. 「参考資料」 として, 井尻正二著「古 生物学論」より.
507	博物館登録調	1, 255 * 180	謄写. 赤線あり.
508	博物館の概況	1, S28.5.1., 185 * 255	T, 謄写.
509	博物館の登録審査基準要項	1, 260 * 185	T, 謄写.
510	博物館フェロシップについて (通 知)	1, 日本ユネスコ国内委 員会発, ICOM 日本委員長宛, S31.9.17., 250 * 180	T, 謄写.
511	博物館法	3, 文部省社会教育局, S26.12.1., 260 * 185	印. 一方には赤線, 青 線あり.
512	博物館法	2, S30.7.22., 255 * 180	T, 謄写. 「博物館法の 一部を改正する法律」. 一方に「棚橋先生」と記 入.
513	博物館法	1, 250 * 180	T, 謄写. プリントの一 部.
514	博物館法施行規則	1, S30.10.4., 260 * 180	T, 謄写. 赤線あり.
515	博物館法施行令	1, S30.8.24., 260 * 180	T, 謄写.
516	博物館法に伴う学芸員の講習博物館の 基準等に関する意見	1, 日本博物館協会, S27.1.14., 255 * 180	T, 謄写.
517	[美術館建築に関する質問の手紙]	1, 久保田進也発, 1956.1.23., 150 * 220	ペン. 鉛筆での書込あ り. 卒業設計での美術館 設計.
518	[評議員会出席依頼の手紙]	1, 生活合理化連盟発, 棚橋源太郎宛, S29.2.-., 255 * 180	謄写.
519	[[「フェロシップ計画」に関するプリ ント]	1, ユネスコ博物館およ び記念物部発, 日本ユネスコ国内委員会 宛, 1956.9.3., 250 * 180	T, 謄写. プリント一枚.
520	文化財保護法	1, 文部省社会教育局文 化財保存課, S25.5.-., 180 * 125	印. 赤線あり.
521	「補助金等の臨時特例等に関する法律 案」における社会教育施設に対する 補助規定について	1, 265 * 180	謄写.
522	補助金等の臨時特例等に関する法律 (抄)	1, S29.5.28., 260 * 180	T, 謄写.

523	[[「ミュゼオン」第五号の執筆依頼]	1, 立教大学博物館学講座主任発, 棚橋源太郎宛, S34.11.20., 255 * 165	謄写. 第五号は「棚橋先生退職記念号」.
524	民家調査表	1, 赤穂郷土博物館, 255 * 360	謄写.
525	民俗学講義要綱	1, 宮本馨太郎, S27.7.10., 255 * 180	謄写.
526	文部省・社団法人日本博物館協会主催 全国博物館大会出席者名簿	1, 255 * 180	T, 謄写. 書込あり.
527	ヨーロッパにおける博物館の教育活動	1, 文部省社会教育施設課, S28.2.-., 260 * 185	T, 謄写. ICOM 編「博物館と青少年」の抄訳.
528	理工学館新設準備の経過	1, 255 * 180	謄写.
529	[[理想社の書籍広告]	2, 理想社発行, 185 * 260	印. 理想社発行の博物館関係書籍. 一方にペンで書込, 裏にメモ書きあり.
530	[[立教大学博物「館」学専攻学生レポート]	1, [[立教大学学生], S32-34., 250 * 180 * 130	複数年度分のレポート.

(7) その他の資料

	書名	点数, 著者, 発行者, 発行年, 書物サイズ	印刷方式, 備考
531	[[「BRITISH MUSEUM (NATURAL HISTORY)」資料の封筒]	1, 190 * 210	The Geological Society of America 発, 国立科学博物館宛の封筒. 中身なし.
532	[[「THE CLEVELAND MUSEUM OF NATURAL HISTORY」資料の封筒]	1, 210 * 160	IOWA STATE COLLEGE PRESS 発, 国立科学博物館宛の封筒. 中身なし.
533	Equipment and Tools for Industrial Education (Vocational High School)	1, 260 * 190	T, 謄写.
534	[[ICOM からの封筒]	1, 110 * 140	棚橋宛. 中身なし.
535	New Books (1)	1, The Japanese Society of Ethnology, 260 * 180	T, 謄写. 欧文の文献一覧. 7-14 頁.
536	[[「NORSK FOLKEMUSEUM」資料の封筒]	1, 240 * 200	封筒に「NORSK FOLKEMUSEUM」と毛筆書き.
537	RECORD OF PROCEEDINGS	1, 根元正編, 鶴館猛訳, 教文館発行, M33.4.16., 225 * 150	印. 英文. 表紙破損.
538	[[挨拶のはがき]	1, 岩佐新発, 棚橋源太郎宛, S34.10.14., 140 * 90	ペン. 岩佐は「ブリジストン美術館主事」.

539	赤穂著作展目録	1, 赤穂町図書館, 1952.-.-., 255 * 175	謄写.
540	アジア伝統精神慰霊供養の行事について	2, 250 * 175	謄写.
541	アンケート	1, 260 * 185	謄写. 「警察官職務執行法」改正案についてのアンケート. 資料 546 と関連.
542	生き残りの記	1, 中島盛一, 260 * 180	謄写.
543	[[「唄姫」の切抜き]	1, 伊東深水, 220 * 160	印. 雑誌のカラー画の切抜き.
544	運動資金調達に関する提案	1, 岸田軒造, S29.1.18., 250 * 180	謄写.
545	小沢恒一先生教壇五十年祝賀会趣意書	1, 小沢先生教壇五十年祝賀会発起人, S34.10., 185 * 70	印.
546	お願い	1, 185 * 260	謄写. 「警職法」に関するアンケート回答のお願い. 資料 541 と関連.
547	[[お願いの手紙]	1, 杉原満子発, 棚橋源太郎宛, 230 * 180	ペン.
548	[[「御礼」と挨拶の手紙]	1, 撫養勇発, 棚橋宛, S31.7.19., 230 * 180	ペン.
549	[[「お詫び」と「御願」の手紙]	1, 産業教育振興中央会 宮坂義雄発, 250 * 170	T, 謄写.
550	[[「おわび」のメモ]	1, 中島発, 「先生」宛, 250 * 180	ペン.
551	[[「会員懇親会」の案内]	1, 茗溪会理事長発, 棚橋源太郎宛, S34.10.12., 250 * 175	謄写.
552	科学技術の振興を中核とした教育制度改革案	2, 教育評論家協会, S32.6.-., 255 * 180	印.
553	学内宗教情操函養行事の一例	1, 十文字高等学校, S27.5.23., 255 * 185	謄写. 書込あり.
554	加古川市少年団概要	1, 兵庫県加古川市教育 長黒田隆, 255 * 180	謄写.
555	[[「画壇三国志」の切抜き]	3, 村松梢風, 120 * 195	印. 新聞連載の切抜き. 第 1, 4, 8 回. 資料 639 の 中身.
556	学校給食の改善と水産振興方策	2, 丸木彰造, S29.2.20., 250 * 180	謄写.
557	[[嘉納治五郎の伝記資料収集への協力依頼]	1, 講道館長嘉納履正発, 棚橋源太郎宛, S35.8.7., 190 * 125	印.

558	[[旧創元社債権問題] についての手紙]	1, 日本文芸家協会, 日本 著作家組合発, 棚橋源太郎宛, S30.12.27., 260 * 185	謄写.
559	教員養成制度改革案	1, 教育評論家協会, S32.9.-., 255 * 175	謄写. 新聞の切抜き貼 りつけ.
560	教員養成制度改革案	2, 250 * 180	T, 謄写. ひとつには鉛 筆, 赤鉛筆にて書込あ り.
561	教室の子供たち 学習指導への道	1, 255 * 180	謄写. 岩波映画「教室 の子供たち」の案内.
562	行事予定	1, [立教大学] 文学部教 務課, S34.12.-., 185 * 260	T, 謄写.
563	[[郷土博物館] 資料の封筒]	1, 265 * 210	赤鉛筆で「郷土博物館」 と書かれた封筒.
564	くしろ丹頂鶴自然公園設置趣意書	1, 釧路丹頂鶴保護会, 釧 路丹頂鶴自然公園建設期 成会, 165 * 215	印.
565	群馬県における子供の現状	1, 群馬県教育委員会社 会教育課発行, S36.6.1., 255 * 180	謄写.
566	警職法改悪絶対阻止署名用紙	1, 警職法改悪阻止立教 大学会議, 250 * 360	謄写.
567	健民協会と食糧研究所	1, 250 * 180	謄写.
568	工芸研究所設置に関する請願書	2, 中嶋久萬吉, 安部能成 ら 10 人が請願人, S23.3.10., 180 * 130	印. 一方には赤線, 他 方には青線あり.
569	[[高校の新教育課程] の切抜き]	1, 170 * 150	印. 新聞の切抜き.
570	国産愛用の葉	1, 国産愛用推進協議会, S31.6.1., 135 * 185	印.
571	[[国庫補助金増額の切望について]	1, 280 * 200	タイプ印刷.
572	[[寿] の毛筆]	1, 秋 畝, 棚橋源太郎宛, S33.-.-., 185 * 155	毛筆. 資料 615 の中身.
573	御宝恵	1, 秋 畝, 「棚橋家御中」宛, S31.10.9., 185 * 270	毛筆.
574	財団法人 岐阜県学寮 昭和 31 年度 予算	1, 255 * 180	謄写.
575	財団法人 岐阜県学寮 昭和三十二年 度予算	1, 260 * 190	T, 謄写.
576	財団法人 岐阜県学寮 昭和 30 年度 決算報告書	1, 255 * 180	謄写.

577	財団法人 大日本女子社会教育会役員名簿	1, S35.6.1., 180 * 255	謄写.
578	資源科学研究所の合同問題について	1, 255 * 180	謄写.
579	芝翠会	1, 180 * 130	印. 大日本女子社会教育会が設けた結婚相談所の広告.
580	自然史科学センター(仮称)の設立について(通知)	1, 文部省社会教育局長発, 国立科学博物館長宛, S34.8.3., 255 * 180	T, 謄写. 「文社施第205号」の写し.
581	社会教育関係法令集	1, 文部省発行, S29.7.-., 210 * 150	印. 傍線あり.
582	社会教育審議会令	2, S26.5.8., 255 * 185	T, 謄写.
583	社会教育同人会の各位へ	1, 杉原一彦, S34.9.26., 240 * 165	謄写.
584	社会教育法 社会教育法施行令	1, S24.6.10., 210 * 150	印. 赤鉛筆での書込あり.
585	社教同人閑信抄(二)	1, S34.10.15., 250 * 180	謄写.
586	社教同人閑信抄(三)	1, 250 * 180	謄写.
587	社教同人 近信抄(五)	1, S35.7.-., 250 * 180	謄写. 「時局に対する同人の声」.
588	社教同人住所録	1, 250 * 180	謄写. 鉛筆で「野尻」と記入.
589	[[「社説 地学廃止は時代逆行である」の切抜き]	1, 190 * 105	印. 新聞の切抜き.
590	終戦以後 収蔵図書目録	1, 日本民族学協会図書課, S24.7.31., 260 * 180	T, 謄写.
591	住宅問題の解決に関する提案	1, 和田見治, S29.1.18., 250 * 180	謄写.
592	昭和34年度処務概要報告	1, 180 * 255	謄写.
593	昭和二十九年度の修学旅行について	1, 加古川市教育委員会発行, 255 * 175	謄写.
594	昭和二十四年予定表	1, 大蔵省印刷局発行, 185 * 135	ペン, 鉛筆書きのメモ多数記入.
595	昭和四年陽春於上野開催の食糧展覧会の職制中東京現住者芳名録	1, S4.-.-., 250 * 180	謄写.
596	食生活改善運動参考資料	1, 国民生活運動懇談会, S28.12.23., 250 * 180	謄写.
597	[[「植物園」資料の封筒]	1, 275 * 215	赤鉛筆で「植物園」と書かれた封筒.
598	食糧運動の経緯について	1, 糧友会発行, S29.2.12., 250 * 180	謄写.
599	白菊会招待参加者名簿	1, 250 * 180	T, 謄写.

600	〔「新春のデッサン」の切抜き〕	1, 宮本三郎, 読売新聞社, S33.1.1., 260 * 195	印. 新聞掲載の宮本の 絵「新春のデッサン」の 切抜き.
601	〔新築増築不採択についての手紙〕	1, 財団法人 岐阜県学 寮発, 棚橋源太郎宛, S30.12.7., 250 * 180	謄写.
602	〔「水族館」資料の封筒〕	1, 305 * 210	「水族館」と赤鉛筆書き された封筒.
603	〔スクラップブック〕	1, 320 * 245 * 30	1940年頃から1960年頃 の新聞記事の切抜きが保 存されている. 戦後の切 抜きは, 朝日, 毎日, 読 売などの新聞記事.
604	生活合理化連盟趣意書	3, 生活合理化連盟発行, 185 * 265	印.
605	生活合理化連盟之野菜清浄化運動提案	1, 糧友会発行, 255 * 180	謄写.
606	〔「生物学大系」刊行案内〕	1, 255 * 80	印. 表紙, 裏表紙は破 損.
607	世界平和運動資料 キース夫人と菅大 佐について	1, 250 * 175	謄写.
608	全国の農業者諸君え	1, 農業問題研究会, 健民 協会発行, S29.2.1., 250 * 180	謄写.
609	〔「増築御披露」の案内〕	1, 東京女子医科大学学 長発, 棚橋源太郎宛, S31.10.30., 170 * 115	印. 附属病院増築新館 の披露案内.
610	第一回立教大学史学会大会発表資料	1, 海老沢有道, 265 * 190	T, 謄写.
611	〔「第五回立教大学史学会」の案内〕	1, 立教大学史学会委員 会発, S35.9.24., 190 * 85	T, 謄写. 封筒に入って いる.
612	第19国会で制定又は改正された社会 教育関係法令要綱	1, 文部省社会教育局, S29.6.28., 255 * 180	T, 謄写.
613	〔「大日本女子社会教育会」の封筒〕	2, 200 * 80	棚橋宛の封筒. 中身な し.
614	第4回全国児童文化会議開催要項	1, [1955.-.-.], 255 * 190	T, 謄写.
615	〔棚橋の金婚を祝う書〕	1, 森川 勉, 260 * 190	毛筆. 10点. 資料572 と封筒に入っていた.
616	中学生の数学教室開設	2, 大日本女子社会教育 会, 190 * 265	印. 生徒募集のちらし.
617	椿の本陣	1, 255 * 185	謄写.
618	〔「動物園」資料の封筒〕	1, 280 * 215	赤鉛筆で「動物園」と書 かれた封筒.
619	図書館法	4, S25.4.30., 250 * 180	印.

620	[[長野県立松本中学校]での思い出]	1, 255 * 180	謄写. ある文集の5頁から8頁.
621	なぜ電気料金の値上げをお願いしなければならないか	1, 205 * 150	印.
622	[[日本映画発達史]書籍広告]	1, 中央公論社, 210 * 150	印. 田中純一郎の著作.
623	日本食糧問題血路打開の有力なる一途は水産業の振興にあり(要項のみ)	3, 川島四郎, S29.3.7., 260 * 185	謄写.
624	[[日本女子会館教室]の案内]	2, 大日本女子社会教育会, 160 * 75	印. 受講案内.
625	日本生活運動中央会規則	1, 255 * 175	謄写. 鉛筆の書込あり. 「運動連合会」と鉛筆で訂正されている.
626	日本生活運動中央会趣意書	1, 255 * 175	謄写. ペン, 鉛筆の書込.
627	[[日本博物館協会]の封筒]	1, 棚橋源太郎宛, 160 * 220	中身なし.
628	[[濃飛人]の封筒]	1, 棚橋源太郎宛, 250 * 165	中身なし.
629	蠅, 蚊, 駆除対策殺虫剤使用法	1, 目黒区役所, 170 * 250	印.
630	白色麵麩中に於ける必須アミノ酸の分布グラフ	1, 260 * 180	謄写. 毛筆の書込あり.
631	[[博物館管理]資料の封筒]	1, 270 * 210	
632	[[博物館協会関係]のファイル]	1, [棚橋源太郎], 280 * 205	
633	[[美術館 西洋美術]資料の封筒]	1, 330 * 240	「附交通博物館」と記載.
634	[[美術史資料]の封筒]	1, 290 * 215	国立科学博物館の封筒. 「美術史資料 ブリッチストーン美術館」との記入. 中身なし.
635	[[表彰関係]の資料]	1, 265 * 190	「記念品料」とかかれたのし袋, 「棚橋源太郎氏 功労感謝記念品代醸出者 芳名」, 及びその追加者名簿が封筒に入っている.
636	[封筒]	1, 完全食全国連盟後援者 海老塚四郎兵衛宛, 棚橋源太郎宛, S31.6.5., 195 * 140	中身なし.
637	福井県優良子供会報告	1, 255 * 185	謄写.
638	文学部・文学研究科 行事予定	1, 立教大学文学部教務課, 350 * 255	T, 謄写. 「昭和34年1月-34年4月」のもの.

639	[[「米博の発達史」資料の封筒]	1, 280 * 215	封筒の題目と内容物にずれがある。
640	[[「放送博」資料の封筒]	1, 310 * 215	「棚橋先生」との書込。中身なし。
641	[茗溪の同窓生の自己紹介]	1, 260 * 180	謄写。
642	[名簿]	1, 255 * 180	謄写。博物館関係者の名簿の一部。9頁から13頁。
643	[名簿（衆、参議院の文教、予算委員会）]	1, 255 * 180	謄写。赤鉛筆で書込あり。
644	申込後のありかた	1, 180 * 260	印。結婚仲介所の類の発行したプリント。
645	[目録の一部]	1, 日本民族学協会附属民族学図書館発行, S24.9.5., 160 * 185	T, 謄写。15頁と奥付のみ。
646	文部省旧友会員名簿	1, S34.12.-., 255 * 180	謄写。
647	文部省旧友会員名簿 昭和三十三年四月現在	1, 130 * 180	謄写。書込あり。
648	文部省告示第九号	1, S30.12.28., 255 * 180	T, 謄写。
649	文部省所轄機関評議員会令（抜萃）	1, S24.7.28., 255 * 185	謄写。
650	文部省所轄機関評議員会令抜萃	1, 255 * 180	謄写。
651	よふきぐらし	1, 天理教教会本部道友社, 180 * 185	印。天理教のパンフレット。
652	立教大学史学会大会	1, 立教大学史学会, 1960.11.1., 180 * 125	印。大会の案内とプログラム。
653	糧友会事業について研究	1, S29.2.27., 250 * 175	謄写。
654	ローマ字教育の廃止に反対する共同声明書について	1, 日本のローマ字社, 1956.5.28., 250 * 180	謄写。

